新京日日新聞
夕刊　六月二十一日
本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社

ソ聯內紛を覆はんと 計畫的不法越境頻發
乾岔子で滿軍監視隊と、ソ聯砲艦 交戰の上尙對峙中

十九日午前四時頃奇克特上流約二十五キロセンヌハ島にソ聯兵約二十名不法越境上陸し來り該地を占領、その後撤退の模樣なく、該地滿洲國人に立退きを强要しつゝあり

□

十九日午前十一時頃ボリショイ島（コンスタンチーノフスキー對岸、奇克特の上流五十キロ）に警備艇に搭乘せるソ聯兵は不法上陸し來り、折柄採金中の苦力四十名に撤退を强要せり、その際苦力の一部は拉致せられたるもの〻如く目下調査中である

□

又翌二十日午前七時頃滿軍監視隊は乾岔子（奇克特西方二十五キロ）北方においてソ聯砲艦（砲一、重機二、輕機二乘組員三十餘名）より突如不法攻擊を受けこれと交戰し、未だ滿軍に損害なきもソ聯砲艦は撤退の模樣なく對峙中である

□

これ等不法事件をみるに先般のソ聯の內訌事件以前にはソ聯は計畫的に不法行爲を繰返へし五月中には十三件の多きに達したが、今回の大肅淸工作によりソ滿國境は一時鳴をひそめてゐたが、國內事情世界に喧傳せられるとともにこれが內紛を覆はんがためまたぞろ計畫的に不法行爲を始めたるに非ずやと判斷せられる

ビルバオ市 遂に陷落

【ビルバオ十九日發國通】スペイン革命軍は十九日朝來北部バスク政廳の首都ビルバオに向つて總攻擊を開始、作戰奏效して各部隊は午後一時半遂に市內に入り、薄暮せまる頃までにはビルバオ市は完全に革命軍の手中に歸した、攻防五ヶ月、難攻不落を誇つた同市の陷落により、バスク地方一帶はいよいよ革命軍の治下に入るものとみられる

長島司法次官 司法部幹部と懇談

長島司法次官は十九日のあじあで來京、ヤマトホテルへ投宿したが、廿日は午後二時半より司法部に赴き、張法相、古田次長其他司、科長等と部內會議室で治外法權撤廢問題に關する懇談會を開き、午後七時より中央飯店で催した法相主催の歡迎宴に臨んだ、廿一日は午前十一時皇帝陛下に拜謁を賜り、その後關東軍司令部その他と治外法權撤廢に關する打合せを行ひ、廿六日まで滯京、同日午後六時卅分發あじあで哈爾濱へ向ふ豫定である

軍政部首腦部 大異動

軍政部では首腦部の大異動を行ひ十九日附をもつて廿一日左の如く發表した

第一軍管區司令官 上將 于琛澂
補第四軍管區司令官
第四軍管區司令官 中將 郭恩霖
補軍政部附
第五軍管區司令官 中將 王靜修
補第一軍管區司令官
中央陸軍訓練處長 中將 邢士廉
補第五軍管區司令官
軍政部次長 中將 李盛唐
補中央陸軍訓練處長

西班牙人民戰線潛水艦 獨巡洋艦を襲擊

【ベルリン十九日發國通】ドイツ新鋭巡洋艦ライプチヒ號（六、〇〇〇噸）はスペイン近海で不干渉監視に從事中、去る十五日スペイン人民戰線所屬潛水艦の襲擊を受けた事實判明した、第二のドイッチエランド號事件としてドイツ政府は事態を重視、十八日午後ロンドン駐劄大使リッペントロップ氏に對し四ヶ國不干渉補强協定に基く手續をとるやう訓令を發した、一方ヒトラー總統は十八日深更ライン河畔ゴーデスベルグより特別飛行機で急遽ベルリンに歸還對策協議中だが事態は相當險惡を豫想される

ドイツ政府發表

【ベルリン十九日發國通】ドイツ政府當局はライプチヒ號爆擊事件につき十九日午後左の如く眞相を發表した

スペイン赤色政權所屬潛水艦は去る十五日ドイツ巡洋艦ライプチヒ號に對し前後三回にわたり水雷を發射襲擊を試みた、ついで十八日午後更に水雷を一個發射したが、いづれも命中せず、但し第四個の如きは艦體近く通過するのを艦上より明瞭に看し得た

日滿綜合產業計畫 陸軍案を骨子に
企畫廳で具體案研究

【東京國通】現內閣の財政經濟政策三大原則の確立に關しては明年度豫算編成上に重要關聯を有するので、目下企畫廳に於て大藏、商工その他各省と協力し、これが具體案樹立の調査研究方法につき打合せを進めてゐるが、企畫廳の意向としては大體九日頃までに日滿兩國を通ずる綜合的產業計畫の成案を得たい方針で、すでに企畫廳へ提出された陸軍の產業五ヶ年計畫試案を有力なる參考意見として準備を急ぐことゝなつた

赤軍肅淸を機に ソ聯の對外策硬化せん
我陸軍當局の觀測

【東京國通】トハチエフスキー元帥以下八名の赤軍首腦部斷罪について陸軍當局はソ聯赤軍の今後の動向及びソ聯の對外政策に及ぼす影響を考慮して深甚の注意を拂つてゐるがその後各方面に到着した情報その他を綜合して大體左の如き觀察を下してゐる

ソ聯 政府がトハチエフスキー元帥以下八名の赤軍高級幹部を逮捕し軍規違反、大逆罪、人民並に勞働者、農民に對する背信罪の名の下に六月十一日軍法會議において全員に銃殺の判決を下し即日これを實行した事件の原因並に同事件の赤軍將校に及ぼす影響についての觀測はソ聯當局の秘密主義とその發表の極めて抽象的なために眞相を把握することがなかなか困難であるが

危惧 諸情報によつて判斷した結果次の二つの觀測が有力である、即ちその一は赤軍の强化するにつれて舊帝政時代の將校出身を主體とする所謂赤軍內の知識階級派の勢力が增大して來て現政權の首腦者にとつてはこれが一の獨裁的存在となつた、之が爲自己政權の將來に極度の危惧を感じた政權首腦者がこれを彈壓するの擧に出たとする說、その二はスターリンが今日まで行ひつゝあつた國內肅淸工作を赤軍內にまで及ぼさうとしたに對して八名の被處刑者達は反對意見を有してゐるために一擧彈壓を喰つたとする說である、この二說はいづれにしてもスターリンの獨裁强化を企圖するための肅軍工作であることには違ひない、被處刑者達が賣國奴的大陰謀を行つてゐたといふ說の如きは今日のソ聯のとつてゐる峻烈極まる監視下でこのやうなことが行はれ得ると想像することも出來まい、赤軍內に實力をもつてゐたこれ等の被處刑者達が何等の抵抗もなく捕りにもろく彈壓された事實からみて陰謀事件云々といふことは到底信じ得られない、何故ソ聯當局者がこのやうな赤軍の功勞者に背信、大逆の罪をきせたかといへば、それは國民の敵愾心を外部に向けて其團結力の强化を策せんとするものとみてよからう

以上 のやうな觀察の結果からみればソ聯國內にはスターリン政權に對し反抗的意思をもつてゐるものが多數存在してゐることが想像されるので、この種の事件は將來なほ續發するものと考へられる、本事件によつて赤軍內に猜疑恐怖の空氣が醸成して來ることは否定し得ないことであるが、一方スターリン政權內に化膿しつゝある腫物を手術した形で有事の際に命取りの危險を包藏する惧れあるに比べれば赤軍肅淸工作はむしろ赤軍の安全性を恢復したものとみてよいと思はれる、スターリン自身がこの腫物を切開手術するの斷乎たる決意を固めこれを斷行した點からみて充分その自信があることを裏書してゐる

ソ聯 が本事件によつてその對外政策に軟化的傾向を生ずるといふ見方が行はれてゐるやうであるが、これはむしろ反對であつて赤軍內の異分子の掃蕩によりスターリン獨裁の强化と對內政策の必要上から對外硬化の方針に向つて行くのではないかとみられる

人事往來

着京

▲桐村義弘氏（商）二十日來京ヤマトホテル ▲千種峰藏氏（滿鐵）同 ▲山崎久就氏（外務省）同 ▲佐藤信太郎氏（同）同 ▲佐志雅雄氏（鑛業）同 ▲島崎庸一氏（官吏）同 ▲岡本榮氏（滿鐵）同國都ホテル ▲山田高氏（南滿鑛業）同 ▲粟屋東一氏（滿鐵）同 ▲荒賀直彥氏（撫順炭坑）同 ▲張弧氏（滿洲採金理事長）同 ▲炭田七郎氏（同秘書）同 ▲田中重次郎氏（商業）同 ▲田中鼓敏氏（滿鐵）同 ▲富永武氏（同）同 ▲笠原照夫氏（商）同 ▲谷口三郎氏（採石業）同 ▲勝浦圭氏（日滿商事）同 ▲上田乃定氏（滿鐵）同 ▲豊田種雄氏（山下汽船）同 ▲長尾賀一氏（カルピス會社）同 ▲村井五郎氏（同）同 ▲田中莊太郎氏（チチハル領事）同 ▲鐵材純氏（中央銀行）同 ▲中澤利太郎氏（請負業）同富士屋旅館 ▲岸田英治氏（滿鐵）同 ▲中村久平氏（官吏）同 ▲上田金太郎氏（商）同 ▲上田幸之助氏（會社員）同 ▲綾瀬川山右衛門氏（大日本體育獎勵協會本部理事）同 ▲中野房藏氏（商）同國際ホテル ▲渡邊澄男氏（同）同 ▲田中定三郎氏（間島省公署警務科長）同 ▲北田雅通氏（航空會社）同新京ホテル ▲金子武一氏（同）同 ▲越本賢三氏（商）同 ▲宮武總次郎氏（官吏）同 ▲市谷留次郎氏（旗民維持會副會長）同 ▲石木龜之進氏（うすりい丸船長）同 ▲小原鐵政氏（同事務長）同

出發

▲菊地貞二氏 廿日發奉天へ ▲野專嘉造氏 同 ▲兒玉國雄氏 同 ▲神野鐵逸氏 同 ▲石井健之助氏 同 ▲鮎川善哉氏 同 ▲土方鹿之助氏 同 ▲高安清見氏 同 ▲日吉欣吾氏 同 ▲石原文雄氏 同安東へ ▲清水勘次氏 同雄基へ ▲清水清吉氏 同 ▲山田進氏 同ハルビンへ ▲出口元明氏 同 ▲久保田豐氏 同京城へ ▲山崎富三郎氏 同 ▲牧野觀禪氏 同鐵嶺へ ▲坂井常雄氏 同 ▲井上修氏 同 ▲吉安到氏 同吉林へ ▲中川眞氏 同 ▲前田利則氏 同 ▲富田祖氏 同 ▲八木武夫氏 同大連へ ▲菊永衛氏 同 ▲海江田良信氏 同安東へ ▲山內敬二氏 同奉天へ ▲鈴木正二氏 同 ▲齋藤忠之丞氏 同 ▲多田嘉一氏 同 ▲大島繁氏 同 ▲村田豐年氏 同 ▲西澤進氏 同 ▲小口只雄氏 同 ▲倉崎喜作氏 同大連へ ▲森曾一氏 同 ▲森田判助氏 同 ▲副島于城氏 同 ▲中正人氏 同 ▲中川久之助氏 同 ▲岡野一郎氏 同 ▲山田勝彥氏 同奉天へ ▲中澤利太郎氏 同 ▲許斐氏利氏 同天津へ ▲西尾保雄氏 同ハルビンへ ▲今吉均氏 同黑河へ ▲藤星致夫氏 同吉林へ ▲小針正雄氏 同 ▲藤原忠助氏 同 ▲野呂清氏 同 ▲山本尙熊氏 同 ▲家村盛吉氏 同ハルビンへ ▲金子眞一氏 同 ▲福田彥助氏 同 ▲御崎明氏 同大連へ

その日〳〵

どつこい俺達も闘つて居ると、スペインの勇士たちも仲々頑張る

□

ところも空に、この際まさしくそんな氣持でソ聯の飛行士は飛んだらう

□

入超六億、言ふのは簡單だがこれをいかにして減少せしめるかは簡單には行かぬ

□

國際收支の點でも今や日滿一體となつたことを注意すべきである

□

柄のあやしげなる徒輩を一掃、これは明朗なる都市への前提の條件

白い天使（一八）

林房雄作　吉田貫星畫

珠玉（三）

『へえ、初耳だね——はなせよ。はなしによつては、ひごろのよしみだ、かたはだぬいでもいい』

『話はかんたんだ。きみの食堂のあの娘を、今すぐ解雇したまへ！』

『え？』

と、あきれて

『あの娘？』

『あの娘——いつもぼくらのテーブルをうけもつ。唇のかあいゝあれさ』

『あれをくびにするのかい。わからないね。あれはうちの食堂のナンバーワンじやないか。サラリーをあげてやれといふのならわかるがくびにしろとは……』

『いゝからやりたまへ』

『おれがくびにすれば、きみがやしなふとでもいふのかい？……』

『ちがふ。きみはフランスの小説をよんだことがあるかね？』

映畫がひとしきりをはつたらしく、休憩の客たちが廊下にながれてきた。

『おつといけない』

と稲井が立上つた。

『彼女をどうかしなければ』

『いゝからおひかへしたまへよ。急な社用ができたから、またあはう——それですむじやないか』

『そんな手もフランスの小說にあるのかい？』

『あるだらうね。ぼくは地下室の酒場でまつてゐる。はやくかたづけて、やつてきたまへ』

いひすてゝ、すたすたと階段をおり、酒場のすみの皮ばりの椅子の上で、まつてゐると、汗をふきながら、稲井がおりてきた。

『おゝ、ほねがおれた。やつとおつぱらつたよ……おい、ボーイさん、なにか酒を……』

ところで、フランスの小說がなんとかいつたね』

『小說はどうでもいゝがね。フランスでは、女優、踊り子、デミモンド、令嬢、マダム、公爵夫人といふやうなありきたりの型に、男があきてくると、工場や、事務所や、裏長屋をさがして、そこから、みがかれない寶石のやうな小娘をひろいあげてくる……』

『なるほど。しかし、そいつは手がふるいぞ。傳說によれば、きみの祖父初代滿兵衛氏などは、しきりにその手をやつたらしいじやないか、親父に高利の金を貸しつけて、その抵當に娘をさらふ——それとたいしてちがはない』

『大いにちがふ。ぼくらの親父たちがやつたのは、たゞ娘のからだを手に入れることが目的だつたのだがね。ぼくはちがふ。ぼくはみがかれざる玉をほりだして、すばらしい寶石にみがきあげ、それを自分のむねにかざるのだ』

『ひどく小說みたいなことをいふね』

『ふふん……つまり、娘を自分の趣味にあふやうにそだてあげて、われとわが全身をうちこんで、夢中になれるやうな、あたらしい妖婦を創造するんだ』

『全身をうちこむ！ はははは、大時代だね』

稲井はおどけて手をひろげてみせた。

『戀以上か——身も心もやきたゞれるやうな……よろしいですな。ところでおききしますが、あの村井弘子を、そんなすばらしい寶石だと、あなたは信じたのですな？』

所謂街の朦朧組 今曉一齊に檢擧

關東局管下各署を總動員 新京署管内で百餘名

新京署では二ヶ月前より關東局の指令に基き朦朧不良分子の調査を進めて來たが愈よこの程調査を完了二十一日

拂曉 五時を期して藤島署長自ら陣頭に立ち高等、司法總動員各派出所の應援を得て百餘名の不良分子の一齊檢擧を斷行した擧げられたものは實に廣範圍に亘り所謂與太者、例へばカフエーゴロ、ダンスホールゴロを初めとし惡質利權屋、三百代言、占師、擧家主、惡店子等で或は行がかりの人の言葉尻り等をとらへ因縁をつけ或は他人の弱點又は秘密を種に恐喝し金品を强要するものや、カフエ、飲食店、料理店等の酒場に寄生虫的生活をなし、たかり、暴行恐喝、詐欺類似行爲をしたり時には官廳の密偵なりと稱し又は新聞記者を裝ひ不正を働く等善良な市民を脅し邦人の正しい發展明朗なる

生活 を紊し社會に害毒を流して來たものが多く檢擧された不良分子の内五十名は内地人、五十餘名は半島人で嚴重取調べの上司法處分、在留禁止、諭示退去、拘留等嚴罰に處する模樣であるが、尙當局に於ては善良なる市民にしてこれ等の不良徒輩の害を蒙つたものはこの際進んで被害狀況を警察當局に申出られたいと、大物と目されるものの内某新聞社準幹部某、大道易者大淵武夫、三百代言横尾治六、新京神社々官青山某が擧げられて居る

明朗國都の實現に 萬全を期す覺悟
藤島新京署長方針を明示

右につき藤島新京署長は次の如く談話の形式で當局の方針を明示するところあつた

まり大物はゐない模樣です檢擧した不良に對しては嚴罰方針で臨みます、これからもかかる不良分子の現れる度毎に檢擧し明朗なる國都の實現に萬全を期すつもりです、これがためには被害を蒙つた市民からも進んで警察に申出られ不良分子の一掃に協力して頂き度いと思ひます

驚くなかれ 全滿で千五百名に上る

關東局高等課平井警部は各地からの檢擧狀況報告の電報を手にし乍ら左の如く語つた

關東局管下の檢擧狀況は今續々と電報が入つてゐます全部で千五百名程に上るでせう、附屬地行政權移讓を前にして關東局が試みた大掃除です、新京ではそれ程でもないが大連、奉天では相當の大物が擧げられるでせう

無軌道少年

原籍島根縣周吉郡西郷町、中川量利君(一九)は青雲の大志を抱いて親の許をぬけて來滿、同郷の中瀬鹿藏氏が新京の市場で魚菜部に勤めてゐると風の便りに聞き尋ねて來たが所持金は使ひ果し住所も所屬市場も判らず、新京驛警官詰所に願んで探して貰つたが皆目判らず、一方中川は驛に用足しにゆくと稱して詰所に青年學校制帽を殘したまゝ戻らずすつかり無軌道ぶりを發揮して係官を手古摺らしてゐる

第七回 世界教育會議に 羽原氏も出席
◇…學校衛生部員として

全世界における學校教育及び教授の發邊進步を圖り、國際的協調親善の實を擧げるため設けられた世界教育會は來る八月二日から七日まで第七回を東京帝國大學で開催され各國から千餘名、日本各地から千四百餘名の中等、初等學校教職員その他教育關係者が集合する、このうちに滿鐵から選ばれてわが室町小學校訓導羽原陽平氏も學校衛生部員として出席することになつた

同氏は大正十二年四月當時長春小學校に赴任以來兒童の營養治療等を擔當し、昭和二年には滿鐵沿線各小學校に魁けてまづ齒科診料室の設置を實現し、同時に養護學級新設を本社に提唱して昭和六年に用ひられて長春小學校に始めて養護學級が設けられたが事變後急激なる兒童增加のため一時閉鎖のやむなきにいたり、昭和十一年四月再び養護學級を立て直し今日にいたつた

同氏を平安町二丁目の自宅に訪問すれば次の如く語る

今日でこそ壯丁の體質低下などといつて中央政府あたりでも保健省だの社會省だの(假稱)と騒がれてゐるが當時養護學級などいつても誰も耳にしなかつたものです、今度選ばれて世界教育會に學校衛生部員として出席することになりましたが本社と打合せた結果別に議題や發表事項は持つてゆかぬことになりました、しかし滿洲兒童の養護に就いて質問があれば徹底するまで說明いたします、寧ろ諸外國の發表事項をうんと取入れて歸りたい、なほ個人の目的としては内地における各地の養護學校の經營施設を充分に視て來て早速長所は室町校にも出來るだけ取入れ實施したいと思つてゐます、だから大會に出席前に別府の養護學校、大阪市立六甲郊外學園、神戸再度山小學校、熱海の外氣學校、茅ケ崎林間學校、鎌倉臨海學園、一ノ宮學園、富浦臨海學園、東京市内各養護學級を視て、歸れば八月二十日から九月二十日まで滿鐵溫泉養護學校(熊岳城)主事として沿線七校の兒童の聚落に出る譯です

なほ同氏は來月十日午後四時四十分發列車で出發朝鮮經由で内地に向ふ豫定である(寫眞は羽原氏)

ナンガパルバット登攀隊 雪崩に遭遇壓死

【シムラ廿日發國通】獨墺山岳會のナンガパルバット登攀隊は、ヒマラヤの處女峰ナンガパルバットの征服を期し、去る六日五千九百五十メートルの山麓に第四キャンプを建設して、さらに勇躍前進を期したところ大雪崩に遭遇、探險隊員七名、案内人グールカ族九名はつひに無殘の壓死をとげた、但しビーン隊長だけは九死に一生を得た

朴、江崎兩名譽領事 張外相に挨拶

昨廿日來京した滿洲國京城駐在名譽總領事朴榮喆氏ならびに大阪駐在名譽領事江崎利一氏(グリコ社長)は廿一日午前九時半筒井外交部宣化司長の案内で國務院を訪問、張國務總理兼外交部大臣に挨拶を述べ、終つて外交部に大橋次長を訪問種々懇談を遂げ、同十一時軍司令部に至り植田軍司令官、東條參謀長、澤田大使館參事官に夫々挨拶を述べた

江崎名譽領事 來京

五月廿五日附で大阪滿洲國名譽領事に任命された大阪商工會議所議員グリコ社長江崎利一氏は廿日午後十時着ひかりで來京、大橋外交部次長、筒井通商司長、森外交部庶務科長、松村宣傳科長、山本、吉田大使館書記官等に出迎へられてヤマトホテルに投宿したが「皇帝陛下から拜謁を賜るといふ有難い御沙汰はまだ拜してをりませんが本當ですか」と感激しながら江崎名譽領事は次の如く語つた

今回は特にはつきりした日程といふものはありませんが外交部と打合せた上出來れば多少各方面の經濟狀態を視察して歸りたいと思ひます、建國後の滿洲には二回來てをります、來る度に日進月步の目覺ましい躍進振りを示してゐることが感じられます、大阪の領事館も御承知のやうに未だ生れたばかりで仕事はこれからといふところです日本の輕工業の中樞をなす大阪と滿洲國との通商關係はそれ自體が日滿兩國通商關係の大動脈ともみるべき重要な紐をなすものでありますから、初代の領事としての私の責任も重大で、今後色々な問題もおきて來ませうが、兩國通商の圓滿なる發達のため急がず、あせらず愼重にやつて行かうと思つてゐます

なほ廿二日午前皇帝陛下に拜謁を仰付けられる筈であつた江崎名譽領事並に朴京城名譽總領事は廿三日午前十時卅分宮内府に參内、拜謁を仰付けられることに變更となつた

滯京中の日程

朴京城名譽總領事、江崎大阪名譽領事の滯京中の日程左の如し

△廿一日午後 宮内府、外交部、財政部、實業部、交通部、文教部、司法部、蒙政部、軍政部を訪問挨拶 午後七時より中銀クラブにおける張兼攝外交部大臣の招宴に出席

△廿二日 午前中は兩氏それぞれ關係方面を訪問、懇談午後市内見學、午後七時より大橋外交部次長の招宴に出席

△廿三日 午前十時半皇帝陛下に拜謁、朴名譽總領事は夜在京朝鮮人關係者の招宴に出席

東京舞台そのまゝ、空前の顏合せ
會員券羽が生えて飛ぶやう

松本幸四郎 開演迫る

松本幸四郎一座は既報の如く愈よ廿三日より二日間に亘り新裝成つた西廣場倶樂部で開演するが、演しものは歌舞伎十八番の内『勸進帳』新歌舞伎十八番の内『大森彦七』『河内山』等が上演されるが、此大々的演し物に對して地方が劣つて居ては、折角の名狂言も味のないものとなるが、地方巡業には珍らしく長唄には團十郎の『勸進帳』に立三味線を彈ひたといふ長唄界の大御所杵屋寒玉が幸四郎と同年輩であり、今度の幸四郎の壯擧に贊成し六十八歲の高齡に拘らず素晴しい元氣で若手の名手六一郎、及び美音の六廣六登治、囃子は六郷吉兵衛等を引連れて參加し、常磐津は同流の家元文字太夫の兄政太夫、政壽郎等の社中、竹本は小松太夫、伊達藏といふ大顏合せで眞に東京大歌舞伎の地方を其儘に見せるところが今回の誇りとするところである、尙一座の出勤俳優は九代目團十郎の伜市川三升、幸四郎の次男市川染五郎、現菊五郎の對手役を勤むる尾上多賀之丞等の他には若手花形のみにて市川猿藏、嵐吉三郎、松本錦吾、市川段猿、松本錦四郎、市川團吉、市川鯉三郎、松本高麗雀、松本三四郎、松本大七、松本染升等名題俳優百餘名で大豪華版を現出するといふ、一行は二十二日午前八時十分着列車で來京幸四郎等幹部はヤマトホテル、國都ホテルに投宿、その他は各一流旅館に分宿する

幸四郎一行の觀劇に 本社大衆席特設
階上後部に二百席を限り 優待券持參者は金五圓

松本幸四郎はいよく二十三日から滿鐵西廣場倶樂部で華々しく開演するが、本社はかねて一般大衆のために普通料金より安く、この稀有の大歌舞伎劇を觀られるやう太夫元と折衝を重ねた結果階上後部に二百席を限り先着順に料金五圓を以て觀覽出來るやうに交渉が纏つたから、本紙刷込みの優待券を利用ありたい、何分にも空前の人氣で豫約申込みが殺倒し却々この大衆席二百椅子の分讓を受けるに困難であつたが本社は多大の犧牲を拂ひ漸くこれを獲得したくらひで、この點特に諒察を希ふところであります、席は階上後部ではあるが、西廣場倶樂部は理想的な設計のもとに建築された建物であるだけに映畫でも劇でも樂々と見物出來ることを誇りとしてゐるところ、尙二百席の豫定數を超へることは絕對に不可能で座席は悉く番號入りの椅子であることに御留意、この好機を逸せぬやうにありたい

廿二日の日程

別項の通り松本幸四郎一行は二十二日午前八時十分着列車で入京するが、一先づヤマトホテルに落ちつき、休憩後、關東軍司令部に到り、軍司令官に挨拶を述べ、次で關東局滿鐵支社に挨拶、忠靈塔、新京神社に參拜、南嶺戰歿勇士の墓に詣で、新京陸軍病院を訪れ慰問品を贈り、終つて各新聞社を挨拶に歷訪する、夜は七時半から新京放送局で趣味の講演を放送する

宮川氏營養講習

東京營養研究所宮川講師はかねて來京市内病院、婦人會等で營養料理講習會を開催中であるが、二十二日は午前九時から午後四時まで記念公會堂にて同講習會を開催する、會費は實費十錢程度を要する

家畜防護團 結成式

滿洲獸醫聯合會では今回家畜に及ぼす空襲毒ガスの慘禍をさけるため家畜防護團の結成を計ることゝなり、二十一日午後一時から關係方面多數列席の上記念公會堂にて發會式を擧行、式後關東軍獸醫部有馬大佐の講演並びに馬、軍用犬の實地演習を行つた

知人の名を偽り 乘り逃げ失敗
まんまと發見されて捕はる

京吉マラソン大會の向ふを張つたわけでもあるまいがこれは滿洲國官吏の名を騙り新京吉林間をたゞ乘り、料金約百圓を踏み倒した超心臟男が吉林領警署に擧げられた、此の男は原籍北海道石狩國生れ當時住所不定松岡善次郎(三九)であるが、大連沙河口海產商米納商店に勤務中店の金を

消費 してゐたゝまれず、さる八日來京して知人宅を轉々としてゐたが、思はしくなく吉林に行かんとしたが所持金はなくそこで一策を案じ大連時代父君の家に出入した關係上名前を知つてゐる國都建設局水道科勤務滿洲國アイスホッケー主將百東力雄氏の名を騙り、さる十七日朝百東氏が出勤後自宅を訪問、家人より國都建設局の地圖並びに同氏の名刺一枚を貰ひ受け直ちに國都建設局の門前に至り、京タクダイヤ街營業所を呼び出し、最初は小手調べに淨月潭を往復させて、堤上で前記地圖を擴げて調査する樣子をみせ局員を裝ひ松本運轉手を信用させ一たん車を歸へした後午前十時半頃再び百東氏宅に

同車 を呼びまた門前より現はれた彼は今度は計畫通り吉林行を命じ、京吉街道をドライブとシヤレ込みまんまと目的を果さんとしたが、遂に運轉手をまく事出來ず、その日は終日吉林市内を乘りまはし、夜は東京旅館に投宿した、一方ダイヤ街營業所では畑支配人以下松本運轉手の行衛を安じ百方手を盡し、塚本營業所主任が、百東氏の留守宅を訪問すればあに計らんや氏は散髪中で吉林行など飛んでもないと言ふ話に、これはてつきり詐欺にかゝつたと大評定中、午後九時半頃吉林電話で松本運轉手から十八日晝には間違ひなく歸京との電話が來たが、未だ詐欺にかゝつてゐるのをさとつた樣子もないので、これは一大事と畑支配人から嚴重監視を命じて、同支配人並びに塚本主任は一路吉林に直行、十八日午前三時半遂に東京旅館の一室で二人に會見、先づ料金を請求したところ、あくまで白をきる松岡は言を左右にして支拂ひの意志をみせないので、畑支配人は最後の切札、百東氏の名刺を見せ「今自分は

新京 で百東氏に會つてきたばかりだが」と言ひ出すと、さすが犯人松岡は觀念して「それでは領事館に參りませう」とあつさりいさぎよいところをみせてしまつた、これには松本運轉手をはじめ畑、塚本兩氏も全く張りつめた元氣も消滅、淨月潭往復、吉林行の料金請求書九十五圓を懷中にしたまゝすごく引き上げねばならなかつたが、なほ領警署の自白では松岡は同寢した松本運轉手のポケットから金五圓を窃取一圓四十錢を消費してゐた、なほ余罪ある見込である

久保理事歸京

滿鐵新京理事久保學氏は内地に於ける石炭液化會議終了後裏日本より北鮮を經て二十一日午後九時三十五分着京圖線で來京する

二十六、七兩夜 西公園で螢の夕
本社が送る納涼第一ページ

急に襲つた新京の酷暑は連日九十度内外を上下し新京唯一の綠蔭地帶西公園は入園締切時間の午後十一時頃まで納涼の人々で賑はつてゐるが、滿鐵新京支社地方課では市民サービスの一端として二十六、二十七の兩日本社後援で『ホタルの夕』を催すことゝなつた、同催しに使ふ螢は山口縣から名產源氏螢約五萬匹を取り寄せ内地の夏季氣分を滿喫させやうといふ趣向であるが入園料は普通料金である

あす(二十二日)

▲夏至
▲夏期衛生展、三中井
▲日本基督教會婦人會、午後一時半、同教會

◎…今晩の主なる演藝放送…◎

▲八・〇〇連續物語「唐人お吉(二)」(大阪)夏川靜江
▲八・三〇管絃樂(大阪)新交響樂團
▲九・〇五新内「若木仇名草」(東京)吾妻路宮壽外
▲一〇・〇〇獨唱 琵琶(新京)長野秋月外

讀者優待券

松本幸四郎一座觀劇
日時 六月廿三・四兩日
場所 滿鐵西廣場倶樂部
本券持參者に限り階上大衆席先着二百名に限り入場料十圓のところ五圓
新京日日新聞社

讀者優待券

松本幸四郎一座觀劇
日時 六月廿三・四兩日
場所 滿鐵西廣場倶樂部
本券持參者に限り階上大衆席先着二百名に限り入場料十圓のところ五圓
新京日日新聞社

新歌舞伎十八番の内「大森彦七」一幕

伊豫國松山街道の場
同　谷川流れの場
福地櫻痴居士作

羊腸たる山路に添うて物寂びた堂がある、菊間五郎太は所の百姓共に、當松山の住人大森彦七盛長の話をしてやがて此道を通るであらうと話しながら過ぎて行く、大森彦七は去ぬる建武の夏、湊川の合戰に楠正成に腹切らせた勳功により數箇處の恩賞を賜つたその悦びを誇つて一族共樣々の遊宴を盡し、此度も猿樂の催しで、御堂の庭に棧敷を打つて舞台をしき、彦七も其猿樂の身に數へられてゐるのでやがて此道を通ることになつて居るのである

楠正成の息女千早姫は遙々松山へ下つて來て、此御堂に潜んで居たが、道行く人の噂を聞いて、思ふに違はず大森彦七此道へかゝるよの、いざや通るを待ち受けんと堂の欄間にかゝつてゐる鬼女の面を取りおろし病に惱む體で堂の椽に憩らふて居る、彦七の同僚道後左衛門近信が通りかゝつて千早姫を見咎め、色と慾との二道かけて遮二無二引立てやうとする處へ、御堂の庭に赴うとて來かゝつた彦七は左衛門を制し、左衛門が詞に都訛あるは南朝にゆかりがありさうと怪しむのをこれは住吉の神職津守のある者女鈴姫とて某近附のある者なりと云ひくろめて左衛門を去らせ、千早姫の風采賤しからず、その容貌さる人に似通へるを思ひながら獨りうなづき、此山路の夜を獨行くは危し、序でながら道連れにならうと連れ立つて行く

道を過る川の早瀬を彦七が姫を背負つて渡さうとすると姫は鬼女の面を冠り、懷劍拔いて彦七を刺さうとする、家來は鬼女に驚き騷いで逃げ散るが、彦七は少しも屈せず、姫の懷劍奪つて河原に下り立ち、姫を上座に招じ湊川にて御父正成殿最後の折、盛長に遺言があつたとてその趣を逐一物語り、その折の御言葉にて、暫く預り參らせた菊水の寶劍をそのまゝ參らせやうと云ふ、千早姫は彦七の言葉を聞いて、一旦は自殺しやうとしたが、諫められて思ひ止まり菊水の寶劍をおし戴いて喜び勇んで別れる

彦七がその後姿を見送つて流石は楠家の御息女、雄々しさよと獨言する後に、大森殿と呼ばはる道後左衛門の聲、彦七は思案をめぐらして氣絶の體を粧ひ、呼び活けられて狂氣の有樣となり、怒れる眼に空を睨んでおぞましや楠正成、寶劍

奪ひ取り逃げ去るは卑怯なるぞ、返せもどせと、あきれて立つた左衛門の馬を奪つて跨り、猿樂の舞に扇をあやつり、一散に馬をあほつて行く（寫眞は大森彦七の舞台面）

新納鶴千代　けふからの銀座キネマ

銀座キネマ二十一日よりの番組は左の如く新興二番線にパラマウント作品を配した三本立編成である

▽新興京都「新納鶴千代」時の大老伊井直弼を父に持つ新納鶴千代が、主義と戀と肉親愛の三つ巴の相剋に武士階級の脆弱さを自ら暴露してゆく物語り、阪東妻三郎と伊藤大輔が初めて發聲映畫で結びついた異色作であつたが、惜しいかな、これも徒らなる大輔のマンネリズムが禍ひして遂にかつての「侍ニッポン」の感銘を再現せしめ得なかつた山田五十鈴、月形龍之介、淺香新八郎等が助演してゐる、阪妻の殺陣のみが素晴らしい

▽同「桃色武勇傳」田村邦男と毛利峯子が共演するナンセンスもの、サウンド版

▽パラマウント「呪はれた女」メリイ・エリス、ウオルター・ピジヨン主演の殺人怪奇劇

〃人生の初旅〃　島津監督、新興で着手

新興大泉撮影所に於ける大船島津保次郎監督の特作品は、島津監督原作脚色によるもので、その題名は「人生の初旅」と決定した、出演俳優は新入社の大内弘をはじめ、毛利峯子、小宮一晃、蜂須賀輝之歌川八重子等の他、新人多數を登場せしめて、愼重裡に配役銓衡中のところ、この程別紙の如きキャスト決定を見たなほ、カメラは大船より島津監督が伴つた新鋭生方敏夫が擔當する

溝口監督次回作

今年度邦畫のベストテンの首位を爭ふ絶對の名畫溝口健二監督作品〃愛怨峽〃に次ぐ同監督の次回作品は、全映畫待望のもとに着々準備進行大略左の如くアウトラインの内定を見るに到つた、先づ前作「祇園の姉妹」「浪華悲歌」に對して、東京生粹の若き藝妓を登場せしめ、其大江戸の名殘を留める特殊の意氣地と戀愛を描き、又同時に颯爽たる現代の女性をも配して對照の妙を極め、又其バックとして經濟上惠まれざる小市民が陷る投機的傾向を諷刺せんとする野心大作にして、同監督が當代無比の抒情的手腕を社會劇のスケールの中に織り込まうとするものである、尙題名は未定であるが、この原作は新進劇作家、三好一光氏が執筆を終へ、溝口監督は西下して、依田義賢氏と協力、シナリオ製作に着手する事となつた

吉田御殿

▽▽吉田御殿△△　新興京都、松竹京都で作られた一大阪夏の陣一の續篇とも言ふべき作品で、新興キネマ總動員、これに松竹ブロックが特別參加する豪華版政略の具となつて純情を踏みにじられた千姫が、己をとりまくいまはしき環境に對して放たれる憤懣は桃色の伏魔殿「吉田御殿」の亂行となつて現はれるのであるが、只一人死んだ秀頼に對する彼女の思慕のみは秘められた純火として常に彼女の胸間を往來してゐたのである、監督するは野口瀾シナリオは眞健一郎の擔當、山田五十鈴の千姫の他に月形龍之助、藤野秀夫の特別出演、市川男女之助、淺香新八郎、舟破邦之助等オールスターキャスト、銀座キネマ卅日封切

さぼてん

「仙人掌に書かれてからあたし皆んなから大酒飲みにされて仕舞つた」といふ松竹のみや子サン、だから「斷然キンシユシだ」といふから、これは大變な事になつたと思つてゐたのに、ア、それなのにさせば矢張りグイ〳〵と飲んで「これは近酒よ」と言ふ▲「夜更けて歸れば」ではなく行つてみると「白十字の娘さん達がアイスクリームをムシャ〳〵食べてゐました▲蒸暑い夏の夜、茶房に釀し出される少女的なるもの一眺めてゐると、一人で五人前ぐらいケロリとして喰べた何と涼しい明彩！

雜音

銀座キネマけふから寫眞替り、新興二番ブロで緊いでゐるが特作版「吉田御殿」の封切が三十日からと決定してゐるから、早々と豫告宣傳が行はれてゐるから、こゝまでは大したものも現はれまい、何年に一度かの豪華版とあるから期待して良からう▼長春座はあしたから、長二郎の「旅の陽炎」と「奥樣しらすべからず」これにワーナーの「青春の抗議」が加はつてこゝも充實した番組を見せる「青春の抗議」のフランチヨツト・トーンとベツテイ・デーヴスの顔合せは期待出來るもの、前二週に續いてこゝの洋畫は異色あるものが一度に揚つた

火曜　庚辰　赤口　開　翼宿　六月廿二日　舊五月十四日

●一白の人　内輪事につき苦勞多き日商賣取引には無事　乙と巳と壬が吉
●二黑の人　何事にも手出しせず常業を守れ移轉旅行凶　甲と丙と癸が吉
●三碧の人　目上の者より見放さるゝ事あり誠實が肝要、甲と庚と壬が吉
●四綠の人　樂觀は許されねども萬事に細心なれば吉し、乙と辛と壬が吉
●五黄の人　從來の心配事も重荷を卸すが如く樂となる　甲と丁と辛が吉
●六白の人　節約は繁榮の基誠實努力は幸福の根となる　丙と辛と亥が吉
●七赤の人　喜びの重り至らんとする日熱心精勵すべし　巳と丙と丁が吉
●八白の人　他の誘惑に陷らざる樣思慮堅固に勉むべし　丙と辛と癸が吉
●九紫の人　諸事有利に轉回せんとする日起業計畫等吉　甲と未と庚が吉

日本本年度の貿易 入超六億を突破

六月中旬の入超額は四千萬圓

【東京國通】六月中旬貿易は前旬に引續き輸出入とも減少し、輸出は前旬に比し百五十九萬七千圓（七分八厘減）輸入は七百七十八萬六千圓（五分八厘減）と夫々減少を來したが、入超額は依然四千萬圓に上つた爲、本年度入超累計は六億二千四百萬圓と遂に六億圓を突破し、前年同期に比し三億一千三百萬圓と倍增を來し、大震災に次ぐ大正十三年度の異例的入超は別として實にわが國の記錄的入超を示してゐる、一月以降累計においては輸出は十四億八千三百萬圓と前年同期に比し二億九千九百萬圓（二割五分）の增加を示し、輸出の基調は頗る堅實なるにも拘らず、かくの如き巨額の入超を來したのは輸入が本旬までに廿一億八百萬圓と既に廿億を超える旺盛さを示し、前年同期に比し六億一千二百萬圓（四割一分）を著增し、輸出の增加を遙かに凌いだが爲である、而してこの巨額にのぼる入超は經濟界の活況特に生產擴充による資材、資料等の輸入に原因するもので、何等悲觀材料となつてゐない

中旬貿易概算 ―大藏省發表―

【東京國通】大藏省發表＝六月中旬對外概貿易概算左の如し（單位千圓）

輸出	八七、四九一
輸入	一二七、五〇九
合計	二一五、〇〇〇
入超	四〇、〇一八
一月以降累計入超	六二四、九一九

重要品輸出入額

品名	金額
△輸出	
綿織物	三三、〇八七
生糸	九、六八八
人絹織物	四、〇九七
鐵	三、三六九
機械類	二、五〇四
罐瓶詰食料品	一、九〇四
絹織物	一、九四七
莫大小製品	一、六六一
毛織物	一、八五八
植物油	二、二六一
綿織糸	二、六七〇
陶磁器	二、三二二
鐵製品	二、八九二
玩具	一、三四九
人絹糸	一、二八一
紙類	一、一七六
木材	一、〇三三
製糖	一、六五七
帽子	七七三
小麥粉	六六六
其他	三〇、五五八
△輸入	
棉花	二六、八二五
羊毛	一三、八八八
鐵	一八、四三〇
原油及重油	一三、八〇三
機械類	四、三七二
豆類	二、一〇六
生ゴム	四、八二七
パルプ	三、八六八
木材	二、三一七
石炭	一、九七二
鋼	二、四四九
硫安	二、九二八
採油用原料	五八九
自動車及同部分品	一、〇八四
油粕	一、一三〇
小麥	一、五五〇
揮發油	一、八三九
銅	三、五七六
麻類	八二七
砂糖	四三一
其他	二六、八一九

五月中の關東州貿易概況

【大連國通】關東州廳調查＝昭和十二年五月中における海路による關東州貿易の概況は（單位千圓）

輸出 四三、八〇六
輸入 五七、一四九
輸入超過 一三、三四三

で、これを前月に比較すれば

輸出 六、三四四（一割六分九厘增）
輸入 四、〇三〇（七分六厘增）

前年同月に比較すれば

輸出 一〇、一一七（三割增）
輸入 六、一五三（一割二分一厘增）

である、なほ一月以降累計は

輸出 二一八、四六九
輸入 二五四、八六九
輸入超過 三六、三九九

でこれを前年同期に比較すれば次の如くである

輸出 八二八（四厘增）
輸入 四一、六〇三（一割九分五厘增）

大豆の檢査問題で大連業者の要望

取引の實情に即せしめるやう

【大連國通】大連主要物產取引人組合、大連油房聯合會及び滿洲重要物產組合の大連特產關係三團體では去る十日以來數回に亘り國營檢查問題に關し委員會を開いて種々協議した結果、左の各件につき當業者の態度を決する必要を認めたので、近く意見を纏めて關係當局に對し陳情書を提出する事となつた

一、大豆規格問題 國營檢查規格は一定不變となつてゐるが滿洲農產物生產狀態の複雜なる現狀よりみて檢查規格を一定不變とするは時期尙早である、滿洲國の指導により生產品の改善進步の實現をみるまでは從來の如く每年の生產品により取引の規格を制定するをもつて取引の實狀に即したものといふべく、水豆發生の場合の如き殊に然りとす

二、取引所受渡標準物件の決定 國營檢查品と混保品の保管出庫の條件は同一でないから取引所の現行受渡標準物件は國營檢查適格品とするか、混合保管品たることゝするか、規定の變更を加ふることは愼重考慮の要あること

三、檢查規格中五等を削除すること 五等品は輸出大豆の品質向上の目的に背馳す

四、新穀出廻初期の水分による不合格品に持合せを要する 新穀出廻初期においては概して水分過多である、從つて國營檢查實施の曉は不合格となるもの多かるべく、かくては新穀出廻品の輸出に一大支障を生ぜしめる惧れある故每年九、十月の出廻品は日本向けに限り水分檢查を除き輸出をなし得る持合せの必要あり

五、油房の原料大豆に對しては輸出檢查を要せざる持合せを設くること

六、國營檢查規格と現行混保規格とは同一でないから國營檢查を本年十月一日より實施するとせば十月限の受渡物件は國營檢查による混合保管品たることにするか否かを決定する必要あり

七、國營檢查不合格品は輸出を禁止されるが國營檢查實施前混保檢查に合格したものは國營檢查を要せずして輸出し得る樣過渡的便法を講ずる樣方策を講ずること

爲替管理令の改正に付協議

許可不要金額を引下げん

【東京國通】大藏省では十九日省議を開き輸入爲替許可に關する省令並に外國爲替管理令の改正案につき協議した、即ち輸入爲替許可省令は

一、期限滿了の本年七月卅一日以後も存續せしめるが別に施行期限を規定せず當分の中とする

一、許可を要せざる爲替取引金額は現行の一ヶ月三萬圓以下から五千圓に引下げる

說と一千圓說があるが結局一千圓に落着く模樣である外國爲替管理令は無爲替輸出或は邦人の海外收入に對する取締り强化等受取り及び支拂の双方に亘つて合法的拔け途の餘地なきやう改正する方針で、來月上旬外國爲替管理委員會を開き所省令の改正とゝもに直ちに施行することとなつた

鮮內第一主義から內外綜合策へ

總督府產業政策轉換せん

【京城支局】十五日の閣議で決定發表を見た所謂經濟三原則は單に內地のみの問題でなく朝鮮台灣等外地をも含めて考へるべきものである、從つて朝鮮今後の產業乃至經濟政策は此の點に出發して樹立さるべきことは勿論で從來ともすれば朝鮮獨自の立場に立脚して半島中心主義的に傾いてゐた朝鮮の產業政策は今後相當大きな轉回を示すであらうと期待される、即ち產業未だ發達せず民力極めて貧弱であつた過去にだては何はさて置き產業の開發は第一でそのため當然の歸結として「朝鮮の特殊事情」が强調され第一主義で進んで來たのは自然の勢であるが施政廿有餘年朝鮮の經濟的價値は漸やく正常に認識され所謂農工併進主義に基いて近代的高度產業に接近しつゝある今日所謂「朝鮮の特殊事情」は日々に褐色されつゝあり內外地一帶となつて經濟國策に參加すべきは勿論で既に棉花、緬羊、燃料問題等に關しては既に內外地一貫の大方針が確立され其の他の部門でも漸次そうした色調が濃化して來たが總督府今後の產業政策は頗る注目されてゐる

日滿緬羊協會の增殖計畫進む

林口附近に牧場を設けて

【東京國通】日滿緬羊協會では滿洲國の產業五ケ年計畫に順應して劃期的な緬羊改良增殖計畫を企圖し、今後廿五ケ年に緬羊一千五百頭を增殖せんとする方針で既に三江省林口附近講爪に二千町步の牧場を買入れ、近く滿洲より三千頭の緬羊を購入し、これを同管に送ることになつてゐるがこれと同時に北海道及東北地方よりも二百頭の緬羊を購入本年度中に送りつける筈である、而してこれが事業經營の主體たる同協會では日本政府より補助金として本年より向ふ五ケ年計畫繼續事業費として二百萬圓の支出を仰ぎ、これが計畫遂行に萬全を期してゐる

新京取引所

先週取引週報

混保大豆 先物 端午節休會明け十五日は六月限六圓六十八錢（七月限同事）と平穩に寄付いたが、海外市況の不勢を眺め寄付を週中の高値として軟化、同日十二、三錢方下押した、跡市況は引續き內外共に冴えず、環境全く沈滯し僅かに今後の出廻り餘力に對する硬軟兩派の動きに伴れ六圓五十錢台に低迷、無味閑散夏枯れ商狀濃厚にして週中の値巾も僅かに二十錢に過ぎず無風凡調裡に六月限六圓四十八錢、七月限六圓五十五錢にて越週した

	高値 圓	安値 圓	出來高
六月限	六、六〇	六、四〇	九二九車
七月限	六、六〇	六、三〇	一八車
本週總出來高			九四七車
一日平均			一九〇車

現物 出來不申

高粱 先物 十五日七月限三圓六十錢にて二車商內あり、跡出來不申に推移した、週末十八、十九日には他品の鈍調に伴れ六月限は三圓三十錢握み、七月限は三圓四十錢握みで手合せがあつたが、孰れも乘替物にして新鮮味なく不勢裡に越週した。

	高値 圓	安値 圓	出來高
六月限	三、三〇	三、三〇	五車
七月限	三、六〇	三、四〇	五車
本週總出來高			一〇車
一日平均			二車

現物 三圓六〇錢

土建ニュース

▲新京市街消火栓增設工事 ●事務局 決定工事 單獨 五百二十九圓 千々岩工務所

▲新京水道制水及泥吐管增設工事 單獨 六月三十圓 千々岩工務所

▲新京祝町東二條通各一部側修繕工事 落札 一千六百三十圓 池內市川組 一、七〇五、〇〇 阿川組 一、七九五、〇〇 倘厚溫 ●保線區

▲范家屯驛構內六七K二五二M踏切道遮斷修繕工事 落札 百圓 倘厚溫 一二〇、〇〇 草場組 一八八、〇〇 飛島組 二一四、〇〇 倘厚溫 三一〇、〇〇 戶田組 二六、〇〇 草場組（第一回入札）（第二回入札）●營繕需品局

▲錦縣專賣署廳舍新築其他工事 落札 六萬四千七百圓 ハタ工務店 六七、四〇〇、〇〇 阿川組 六八、三八四、〇〇 石井組 七二、四四〇、〇〇 藤田組 七九、〇〇〇、〇〇 森出工業 八二、五〇〇、〇〇 間組 ●市公署

▲市立女子中學寄宿舍內鍋新設工事 入札の結果豫超に付再入札豫告工事 ●電業會社

▲白揚際增築及改造工事 開札 六月二十一日 決定工事

●滿鐵大連鐵道事務所

▲瓦保區管內十河義河外四ヶ所橋梁縱桁鋲綴鋲替工事 ●石保區管內熊岳城面遂保區管內巡家溝河 落札 一萬六千四百五十六圓 大連機械 一一、〇八六、〇〇 大汽船渠 ●大連工務所

▲護町丙種社宅一〇棟二十戶增改築工事 豫特 九千二百十六圓十錢 今井組

▲護町舊丁（六、四、五）北向二四戶を一八戶に增改築工事 豫特 一萬二千八十圓五十錢 梅本鶴松

▲眞家河子水明館第二第三團體宿泊所移轉改築工事 單獨 三千九百五十圓 葛井組

▲周水子六一外二十戶分 宮崎組

▲ベーチカ築替工事 豫特 一千五百二十一圓 宮崎商會 ●滿鐵地方部

▲新京用度事務所第三倉庫新築工事 落札 三萬八千六百圓 新京阿川組 三九、〇〇〇、〇〇 草場組 三九、一五〇、〇〇 三田組 三九、六〇〇、〇〇 伊賀原組 ●市役所 豫告工事

▲彌生高等女學校教室內體操場增築工事 開札 六月二十五日午前十一時 ●關東州廳

▲金州種馬所官舍新築工事 開札 六月二十五日午前中 ●撫順炭礦

▲古城西川捨場暗渠築造に伴ふ排水溝及築造工事 落札 一千六百八十圓 三田組 一、七四〇、〇〇 藤組 後

▲大官屯發電工場スチームパイプピットウエル築造工事 豫特 八百五十七圓 高岡組 ●錦縣鐵路局

▲河北拱倫小學校倉庫增築工事

▲河北永碼頭三號倉庫床改造工事 落札 二千六百三十六圓三十錢 復興公司 二、七〇七、〇〇 大同公司 四、一二五、〇〇 東生公司 ●滿洲製糖

▲滿洲製糖ハルビン事務所新築工事外一件 落札 八萬二千圓 戶田組

▲田地街一部改築工事 落札 八千九百圓 日本舖道 九、四四〇、〇〇 エムラス工業 ●昭和製鋼所

▲赤城町集合社宅浴場新築工事 單獨 五千六百三十圓 池內市川組

▲製鋼東部線路踏切道新設工事 特命 一千百三十五圓 西川工務所 ●地方事務所

▲鞍山吉野町附近道形築造工事 落札 二千四百五十四圓 坂本組 二、四五五、一〇 西川工務所 二、六二五、〇〇 白川洋行 二、六六七、〇〇 眞田水道 ●齊々哈爾鐵路局

▲札蘭屯病院給水工事 落札 八百七十九圓六十四錢 新京阿川組

▲齊々哈爾用度支所自動車庫其他給排水工事 落札 一千三百十五圓 新京阿川組 一、三六七、四〇 坂本組 一、三六五、〇〇 眞田水道

▲克山貨物倉庫調節工事 落札 二千九十圓 瑞興公司 二、三四〇、〇〇 東亞土木 二、八五五、三〇 岡組 二、八八〇、〇〇 松本組

▲大鄭線二六二K附近西遼河護岸補强其他工事 落札 四千六百圓 飛島組 四、八九〇、〇〇 坂本組 五、一三〇、〇〇 御谷組 五、三三六、七〇 京城土木 五、三三〇、〇〇 東亞土木

▲土爾地哈給水栓排水新設工事 落札 二千六百七十五圓 坂本組 二、八二〇、〇〇 阿川組 二、八四〇、〇〇 淺野物產 二、九四五、〇〇 眞田水道

▲札羅木得站給水栓並排水管新設工事 落札 三千四百八十圓 淺野物產 三、六二〇、〇〇 阿川組新京 三、六五五、〇〇 眞田水道 三、七四三、〇〇 坂本組

商況欄 （六月二十一日前場）

海外經濟電報

倫敦金塊 七磅〇志六片二分一
紐育金塊 休
倫敦銀塊 一九片一六分一
同先限 一九片一六分五
同銀塊 休
孟買銀塊 五一留比八分五
スチール株 九五弗八分三
アナゴンダ株 五〇弗八分一

▲市俄古小麥 七月限 一弗〇六仙八分一

▲紐育棉花 九月限 一弗〇六仙二分一 十二月限 一弗〇八仙八分五

▲印棉 現物 一二仙四四 七月限 一一仙九四 十月限 一二仙〇二 十二月限 一一仙九九 一月限 一二仙〇一 三月限 一二仙〇五 五月限 一二仙〇二

▲カルカッタ麻袋 ブローチ 二二七留比 オームラ 二二〇留比 ベンゴール 一九一留比

紡 二三留比六分三 紡 二一留比六分一

英米爲替 四弗九八仙九〇 日米爲替 二八弗七八仙 米支爲替 二九弗八五仙 日英爲替 一志二片三分〇 英支爲替 一志二片三分七 日印爲替 七七留比二分一

金銀市況

●上海標金 本寄 二三二、五〇 步 ―

爲替相場

▲上海爲替 日本向 一〇三、三七五 第一回 賣買 一〇三、五〇〇
▲倫敦向 第一回 賣買 一志二片三分 二分一
▲紐育向 第一回 賣買 二九弗四分三 二九弗二六分三
▲阪神日米爲替 賣買 二八弗一六分二 二八弗四分三
▲阪神日英爲替 賣買 一志一片一六分三 一志一片三分三
▲滿洲中銀爲替 上海向 九六圓五〇錢 天津向 九六圓五〇錢 紐育向 二八弗四分三 倫敦向 一志二片

各地株式市況

▲東京株式（短期） 六月

	寄付	大引
東新	一三二、四〇	一三二、四〇
東	一〇八、一〇	一〇八、一〇
鐘紡	一〇〇、〇〇	
日產	二三三、〇〇	二三三、〇〇

▲大阪株式（短期）

	寄付	大引
新	八一、〇〇	八一、一〇
東新	一三三、七〇	一三三、四〇
鐘新	二〇〇、〇〇	二〇一、〇〇
日產	九六、〇〇	九七、三〇
大新	一〇一、二〇	一〇一、〇〇
日書		

▲大連株式（短期）

	寄付	大引
品	一六、九〇	―
新	三〇、〇〇	―
新	一三三、五〇	―
東新	三九、一〇	―
鐘新	七八、一〇	―
滿新	三〇、〇〇	―
日新	四〇、〇〇	―

▲奉天株式（短期）

	寄付	大引
取新	一三、六〇	一三、六〇
新	一三三、八〇	一三三、三〇
大產	八一、八〇	―
日新	六八、八〇	六八、一〇
五品	一七、一〇	―
豆新	三〇、〇〇	―
鐘毛	六〇、〇〇	―
日先	―	―
滿鐵	―	―
優新	三九、一〇	―
滿甲	三一、〇〇	―
同乙	一九、四〇	―
電拓	―	―
東斯	六八、〇〇	―
瓦斯	三三、六〇	―

各地商品市況

▲大阪棉糸

	寄付	大引
六月限	三六一、六〇	三六〇、四〇
七月限	三六七、三〇	三六六、六〇
八月限	三六三、四〇	三六二、七〇
九月限	三六八、七〇	三六九、四〇
十月限	三六五、六〇	三六五、〇〇
十一月限	三六四、三〇	三六五、〇〇
十二月限	三六三、七〇	三六四、四〇

▲大阪棉花 當限 納會 先限 納會

▲大阪人絹 當限 一八〇、〇〇 先限 一八〇、〇〇

各地特產市況

▲新京（一石値段）

	寄引	出來高
現物		
大豆	―	―
高粱	―	―
小豆	―	―
玉蜀黍	―	―

●大豆 先物

	寄付	大引	
六月限	六、四七	六、四九	八車
七月限	六、四九	六、五三	五車

●高粱

	寄付	大引	
六月限	三、三〇	三、三〇	八車
七月限	三、四〇		八車

▲大連

●大豆

	寄付	大引
袋入 六月限	七、二六	七、二九
七月限	七、二二	七、二二
八月限	七、三五	七、三四
九月限	七、四一	七、三九
十月限	七、三三	七、三三
三幹限	六、七三	六、七三

●豆粕

	寄付	大引
現物	―	―
七月限	二、一三〇	二、一三〇
八月限	二、一二〇	二、一二〇
九月限	―	―
十月限	―	―

●豆油

	寄付	大引
現物	―	―
七月限	―	―
八月限	―	―
九月限	二、三四〇	二、三四〇

大正九年十月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 廣告料金 普通 一行壹圓五拾錢 特別 一行貳圓五拾錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話 編輯局専用(3)三二〇五 營業局専用(3)三三一〇

發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

ボヤールコフ北水道をソ聯不法にも再閉鎖す

満洲國側嚴重抗議を提出

或は實力確保斷行か

満洲國江防艦隊は去る五月卅一日ソ聯アムール艦隊のため閉鎖されてゐた大黒河下流百キロのボヤールコフ北水道の日満船舶の自由航行を實力をもつて確保したが、ソ聯側はその後同水道の再閉鎖を企圖し多數のソ聯兵をして最近夜間に乗じて閉鎖作業に從事せしめ遂に本月中旬に至り不法にも國際河川である同水道を流木、鐵筋等をもつて後我船舶とも永久に航行不能の如く閉鎖するに至つたことが判明した、右ソ聯側の水道閉鎖の不法行爲を敢へてする所以は

一、北水道を閉鎖して南水道を國際河川船舶航行路とし事實上ボヤールコフ島を不法占據せんとしたこと

二、北水道を國際河川として日満側船舶の航行を許すは目下對岸において工事中の要塞、兵舎の戰備状況を日満側にて識られるを惧れたこと

三、南水道は目下大船舶の航行は極めて困難で北水道の閉鎖により満洲國江防艦隊のアムール航行の自由を妨害し沿岸警備を不能に陥らしめる

の三點より閉鎖したものとみられる、満洲國側は右ソ聯側の不法水道閉鎖を極度に憤激し對策を練つてゐるが、取敢へずソ聯側に對し嚴重抗議を提出し水道閉鎖設備の撤回と日満船舶の同水道自由航行の保障を要求することゝなつた、若しソ聯側が満洲國の抗議に對し何等反省なさず日満船舶の水道航行を依然妨害するにおいては満洲國側は實力をもつて同水道航行の自由を再度確保するものと觀測される

専門家議員を重視

首相貴革案、議會に提出

【東京國通】近衛内閣に課せられた重大使命の一たる貴族院改革につき近衛首相は革新政策への第一歩としていよいよこれが實現を斷行し、衆議院選擧法の改正と相俟つて萎微沈滯せる議會に清新明朗の氣分を注入し、わが二院制度の完璧を期すべく貴族院制度調査會をして審議立案せしめ來る通常議會にこれを提出することに決定した、しかして近衛公の抱懷する改革方針は微温姑息なものではなく、貴族院更始一新の根本に觸れた相當革新的なものである、即ち

一、二院制度の妙味を發揮するには貴族院にあつてはどうしても廣く各方面の専門的知識經驗家をもつて構成分子とすべきである

一、貴族院が現在の如く華族の各階級を代表した議員を中心とする組織構成は過去の一つの形式であり、新時代に適合したものではないから根本的に改めねばならない、しかし華族議員は憲法は甚爽を置くものであるから廢止するわけには行かない、したがつて貴族院令第五條の勅選議員制限規定をあらためると同時に、主なる眼目を華族議員數の減少と各方面の専門家議員制創設におき、その目標は大體勅選議員全體の三分一、多額議員に替るべき専門家議員を同じく三分一程度とするのが適當であり、議員全體數は必ずしも減少せしめる要はないとしてゐる

右の方針で臨む場合においては、これによつて最も打撃をうける研究會、公正會方面で強行反對を唱へることは明かであり、且貴族院改革に反對論の多い研究會出身の馬場内相が貴族院制度調査會副會長に就任し、又この問題に餘り賛意を持たない研究會の松平賴壽伯が議長に勅任された關係上、折角近衛首相の抱く革新的改革案も結局不徹底な妥協案に終りはしないかと見られてゐる

交友倶樂部意向

【東京國通】貴族院交友倶樂部では廿一日例會を開き、近衛首相の抱懷する貴族院改革方針につき意見の交換を行つたが、これを綜合すれば大體左の如くである

一、近衛首相の主張するが如く貴族院議員を減少して貴族院を専門的裁斷をなすの機關たらしめることは必要であるが、貴族の存在といふことを無視して政治は行はれないから、一時に多數の貴族議員を減少することは困難である

一、多額議員制度の存廢が問題となつてゐるがこれを廢して近衛首相の考へてゐるが如く職能代表制に改めたところで現在法律的に根據を有する團體は商工組合と農會等に範圍が限定されてゐるから、廣く各方面の代表を得ることは不可能である、多額議員は一種の専門的な農村議員であるから存續すべきであると思ふ

満洲小麻の輸入禁止

米政府、提案中止

製油業者の陳情て修正案提出

満洲産小麻子は對米重要輸出品の一つとして年々多額の輸出をなし米國における總需要の九割は關東洲より輸入せられてゐる状態であつたが、米國政府は小麻子一ポンドにつき一・五仙關税のほか昨年下半期以來更にポンド當り二仙の消費税を賦課するに至つた爲、輸入は殆んで杜絶のやむなき状態に陥つてゐた、しかるに最近に至り米國政府は更にその輸入をも強制的に禁止せんとする法案を議會に上程した爲、満洲國政府においても事態の推移に異常な關心を有してゐたところ、この種輸入業者、製油業者等の技術的對策提出の結果、漸く輸入禁止の危機を脱することを得た模様である、今回米國政府が輸入禁止を行はんとした理由は同國業者がメキシコ産マリファナ(麻)の花より麻酔劑を製出し、これを青少年の間に販賣しつつある事情が判明するに至つたのでいはゆる「マリファナ法」によつて米國内における麻の栽培を禁ずるのみならず、さらにその子實すなはち小麻子の輸入をも禁止せんとするにある、しかして麻酔成分は花にあつて子實には含有されてゐない、そこで製油業者輸入業者その他關係筋が單なる麻劑取締のため重要油脂原料たる小麻子の輸入を禁止するは不當なりと陳情した結果、つひに小麻子の輸入禁止事項を除きその代策として「飼料者の如く小麻子を子實の形において取扱ふ者はこれを加熱、その他の方法により發芽し得ざるやうに處理する」との修正案を提出するに至つた、こゝにおいて満洲の對米重要輸出の一たる小麻子は漸く法制的輸入禁止の危機を免れ得たのであるがさらに今後の問題として満洲より輸入せられる小麻子中小禽等の飼料に需要せられる量が多量に上る場合において満洲國はしかるべき機關において加熱處理設備を施し、もつて發芽能力を止めるべく特産中央會において近く對策を決定するものと思はれる

小會派、特別議會控へ

倶樂部結成協議

【東京國通】特別議會召集を控へて衆議院の小會派は院内交渉團體としての數を取纏めるべくよりより協議を進めてゐるが、之等の動きは勢ひ小會派の合從連衡機運を醸成しいよいよ廿二日午後國民同盟舊昭和會、無所屬議員等は夫々會合を催し、小會派の横斷的倶樂部結成に關して協議を行ふことになつた、同會合で各議員の意向を取纏めた上で同夜國同の清瀬一郎舊昭和會の林路一、無所屬の今井新造椎尾辨匡の諸氏が倶樂部組織發起委員として今後の方針に關する具體的協議を進めることになつた、而して倶樂部結成は第一目的として院内交渉團體權を獲得するにあるが、これに參加するものは國同十一名、舊昭和會廿名で既に諒解濟みであり、無所屬議員に對しては個人的に勸誘する方針である、なほ東方會は參加せざることに決定してゐる

神吉次長東京發

【東京國通】治外法權撤廢問題等に關し重要打合せの爲上京中であつた神吉總務廳次長は、用務を終り廿一日午後三時東京驛發歸任の途についた

平島敏夫氏 あす赴任

七月一日より實施される新行政機構陣容に於いて錦州省次長となることに決定してゐる協和會參與平島敏夫氏はそれに先立ち錦州省公署總務廳長としての發令を受け二十三日新京發赴任する

政務官制度 運用に新機軸

【東京國通】各省政務官復活問題は政府の最後的方針決定を今週に持ち越したが、政府としては政務官制度は現行のまゝとして、これが運用に新機軸を出す方針である、而してその割當は政民各六名、貴族院六名、小會派、無所屬等四名、計廿二名とし(陸海軍政務官は各一名)あくまで人材主義により政黨に對しては總裁又は幹事長を通じて人選を依頼することなく、政府より割當決定と同時に指名して直接本人に交渉する方針で、目下風見書記官長、瀧法制局長官ならびに政黨出身閣僚たる中島、永井兩相等の間で研究を進めてゐる

蘇峰、雪嶺氏も藝術院參加

【東京國通】文部省では新生帝國藝術院の文學畑の會員として單に純文學に限らず、評論、詩歌壇等の方面についても會員を詮衡中であつたが、廿一日に至り論壇より徳富蘇峰三宅雪嶺、井上康文、千葉胤明、詩壇より河合酔茗五氏の就任受諾を得た、蘇峰、雪嶺博士の永年に亘る文明評論はまさに日本文化の重要指針たりしもので、兩氏を會員に加へたことは文部省當局のヒットである

ブルム内閣總辭職

金融全權委任法案を繞り

果然、上院と正面衝突

【パリ廿日發國通】ブルム人民戰線内閣は金融全權委任法案に對する上院の頑強な反對に會ひ、廿一日午前二時四十五分(満洲時間廿一日午前十時廿五分)遂に總辭職に決定した

【パリ廿日發國通】ブルム人民戰線内閣はフラン貨危機切拔け對策たる金融全權法案に關し、上院と正面衝突の結果成立後一ヶ年にして遂に瓦解のやむなきに至つたが、衝突の直接原因たる諸法案の内容左の如し

△政府原案 フランス政府は國務會議において檢討された金融令により財政の回復を確保し、貯蓄ならびに公共の信用を保存するに必要な手段を講ずる一切の權限を附與、以上の金融令は本法の公布後三ヶ月以内乃至すくなくとも一九三七年の第一特別議會に提出、議會の承認を受くべし

△上院代案 フランス政府は金融令により貯蓄、通貨ならびに公共の信用を危殆に陥入たるおそれある投機的操作の阻止抑壓を專ら匡す、政府は手段の如何を問はず次の處置を講ずる權限を享受しない

一、外國爲替を管理し若くは外貨乃至内外證券の自由な流通若くは相場を制限すること

一、フラン貨の現平價を變更すること

一、現行法に明示されぬ產業の國營化

一、強制的な公債募集乃至借款

△和協試案 フランス政府は金融令により

一、公共の信用を破壊する操作の阻止抑壓

一、爲替管理によらず且つ英米佛三ヶ國通貨協定の機構内においてフラン貨を擁護す

一、財政の回復を保障し貯蓄を保護することを目的とする一切の手段を講ずる權限を附與される

但しフランス政府は金融令により

一、各省ならびに地方自體の費用において新たに事業を興し失業者を救濟す

一、公債の借換乃至強制募集

一、關税引上げ乃至現在承認されてゐる以外國家の民間事業關與を意味する手段を講ずることを得ず

後任首相はショウタン氏

【パリ廿日發國通】ルブラン大統領はブルム首相辭職の後をうけ急進社會黨領袖カミーユ・ショウタン氏に組閣を委囑した、セウタン氏は原則として受諾する旨回答、直ちに急進社會黨を中心とする左翼聯立内閣の組閣に着手した、ショウタン氏は當年五十二才上院における急進社會黨の領袖でダラヂエ急進社會黨首領と併稱されるフランス政界の大立物で、人民戰線内閣では無任所相として内閣に重きをなしてゐた

ラ號射撃事件で

四國協定要請

獨代表、共同デモ主張

【ロンドン廿日發國通】スペイン人民戰線軍所屬潛水艦がスペイン海上監視中のドイツ巡洋艦ライプチッヒ號を射撃した事件に關しドイツ政府は直ちに英國に通牒、新四ヶ國協定に基く商議開始を要請したが、右要請により英、佛、獨、伊各國代表は廿日英國外務省に參集協議をとげたが、何等の決定に到達せずして散會した、席上ドイツ代表はバレンシア政府に對しライプチッヒ號事件に關する共同抗議を提出するのみならず、海上監視各國の連帶責任を明示、今後かゝる事件の再起を豫防するため若干のスペイン海港に對し海軍の共同デモ敢行すべきことを力説したといはれる、但し英佛兩國代表はライプチッヒ號爆撃事件の證據資料不充分なること、その他の理由で受諾に難色を示したといはれる

政府、南總督に

満鮮一如の方針聽取

【東京國通】政府は廿二日の閣議散會の後の席上において特に目下上京中の南朝鮮總督の出席を請ひ、朝鮮その後の統治情況はもとより南總督が平素抱懷する満鮮一如の方針に基く生産力の擴充、その他に關し種々意見を聽取することゝなつたが、右は現内閣が日満一體の五ヶ年計畫を樹立することゝなつたのに關聯して極めて重要な意味をもつも

満化硫安輸出 增加問題折衝

【大連國通】満洲化學の硫安内地輸出は、現在年七萬噸でそのうち三萬五千噸は全購聯に向けられてゐるが、先般來満の全購聯の藏川專務は満鐵に對し

一、硫安を現在以上に全購聯に輸出してもらひたいこと

一、現在満鐵が所持する満化株を額面卅七圓五十錢で讓渡してもらひたい

旨を述べたが、満化株の讓渡問題は交渉渉らず硫安の輸出增加問題については目下上京中の武部満鐵理事が全購聯と交渉中であるが満化としても本年から六萬噸增産することゝなるので大體年額十萬噸の輸出を目標としてゐるものとみられる

八將軍の遺族 五ヶ年の流刑

【哈爾濱國通】トハチエフスキー元帥以下八將軍の遺族等は叛逆者の家族としてシベリヤ方面に五ヶ年の流刑に處せられることゝなつたが無辜の家族にまで苛酷な制裁を加へるスターリン氏の處置に對しソ聯一般民衆の反感はいよいよ高まつてゐる

ゴンビロワ女史逮捕

【哈爾濱國通】廿一日當地某機關着情報によればクリミア自治共和國社會保健人民委員アレキサンドラ・ゴンビロワ女史は反革命運動加擔の科により逮捕された

兩制裁法規 閣議を通過

廿一日の國務院會議に違令罰基準法ならびに違警罰即決法が上程可決されたが前者は日本の「命令の條項違反に關する罰則の件」に相當し、後者は「違警罰即決例」に相當する法規である

△違令罰基準法 これまで勅令、院令、部令、省令、縣令等の命令に附する罰則は勅令第三號により違令罰法を援用して來たが理論上にても實際上にても不都合の點が多いので本法を制定七月一日公布、八月一日より施行することゝなつた

△違警罪既決法 違警罪事件はその件數が多く全部を法院で處理出來ぬばかりでなく主として警察犯にかゝるので警察官に迅速に處理せしめるため既決處分を規定したもので、七月一日公布九月一日から施行される

満鐵新任理事 久保氏來京

去る六日から撫山海軍燃料廠で開催された石炭液化會議に出席した満鐵新任理事久保孚氏は二十一日午後九時三十五分着列車で京圖線經由で來京 菅野満鐵支社庶務課長その他に迎へられて理事公館に投宿したが、同理事は語る

六月二日附で理事に任命され四日大連出帆の船で徳山會議に出席したので新任挨拶もしてゐなかつたから挨拶廻りに來た、徳山の會議の内容を一切差し觸りのある事ばかりで話されぬ、かへりに成鏡南道興南の野口コンチェルンを視て來たが向ふのは水を源泉として撫順は石炭を源泉としてゐるのである、一つ〳〵のユニットは撫順の方が大きく出來てゐるが角が小さいそれに反して向ふはユニットこそ小さいが多角的である、換言すれば水を源泉として芋蔓式に多種多様の産物を製錬してゐる、この點大いに今後研究して撫順も多角的に進めなければならぬ、それには人事をつくし、智能を發揮する必要がある、がその具體的方法はまだ考へてもゐないし、こゝで言ふ譯にはゆかぬ、二十六年間撫順にばかりゐて滅多に外に出ないのだが何事も他にも多く視る必要を痛感した

なほ同氏は二十二日關東軍、實業部、交通部、その他關係個所を歴訪新任の挨拶を述べ一兩日滯京の豫定である

人事往來

▲渡邊満鐵顧問 二十一日來京
▲磯部關東局事務官 同大連へ
▲松島交通部人事科長 同
▲狩谷忠麿氏(總局) 二十一日來京ヤマトホテル
▲瀧山清次郎氏(安東領事) 同
▲三村哲雄氏(營口領事) 同
▲川西豐藏氏(錦州領事) 同
▲工藤敏次郎氏(赤峰領事) 同
▲保々隆吳氏(會社員) 同
▲中野高一氏(吉林總領事代理) 同ヤマトホテル
▲川村博氏(間島總領事) 同
▲森岡正午氏(奉天總領事) 同向陽ホテル
▲大熊孫氏(大林組) 都ホテル

航空往來

▲中村一郎氏 二十一日義州へ
▲平川守氏(官吏) 同
▲今村麻次郎氏(會社員) 同ハルビンへ
▲寺東秀雄氏(會社員) 同奉天へ
▲堀内大和氏(會社員) 同
▲笠原末吉氏(會社員) 同奉天から

今まで取殘された形にあつた新京家畜防護團は二十一日を期してスタートした▼近代戰に於ける都市の惨禍は想像するだに慄然たるものありこれが防衛に關しては國都各機關一丸となり全力をつくしてゐるが▼それは單に國都及び其の附近に居住する人類のみの防護であつて平時にあつては國家唯一の資源であり▼一朝有事の秋は戰闘の一員となり重要な役割を持つ家畜に就いては未だ防護機關も施設もなされてゐないのに鑑み▼満洲獸醫畜產學會新京支部では國都で其の附近の資源確保と一般の家畜愛護心普及と向上を圖るため家畜防護團を結成した事は▼一には國家防衛上から一には家畜愛護の上から見て寔に慶賀すべきことである▼國都防衛はこの防護團の成長に俟つて初めて完璧が期せられるもので全市民の協力を希求する所以である▼關東局の不良府は近來のヒットである いさゝか物足りない感がある▼網の目をのがれたのもあるやうだ更に二回三回の大掃除が必要

社說

日本の貿易趨勢
日滿一體の國際收支

一

國際收支上の困難を克服するといふことが、現在の日本にとつて最も大きな經濟問題となつてゐる。最近に於ける商品貿易の動向を見ると、輸出、輸入とも引續き甚だ旺盛であるが、しかし輸入の增し方が特に强いために、入超が昨年同期に比べて增加するといふ傾向は依然として繼續してゐる。五月下旬に於いても內外地を合せての入超總額は二千九百二萬五千圓に及び、昨年同期の二百二萬七千圓に比すれば、僅か一旬で二千七百萬圓の大增加であつた。本年一月以降五月下旬までの貿易數額を前年同期に對比してみると、入超累計は昨年よりすでに二億五千萬圓を增加して五億二千八百萬圓となつてゐる。六月中旬に至り入超額は早くも六億を突破した。下半期になつて、今度は輸出超過がやはり昨年より若干多くなるにしても、今年を通じての入超は明年より二億乃至二億五千萬圓を增して總計四億圓前後となることはもはや免れ難い勢ひであると思はれる

二

このやうな入超の增加も、輸出入ともに增加した上での結果であるし、且つ入超に對しては別に金を現送して爲替は確實に維持して居るから、當面の財界にとつてはむしろ經濟活動量の增大として好い影響を與へてゐることは間違ひない。またこのやうに輸出入價額が增加したのについては、昨年と本年とを比較して諸商品の價格が著しく騰貴してゐるといふことも重要な一因をなしてゐるが、數量の上から見ても明かに增加してゐる。そして輸入の增し方は、數量の上でも輸出より大きいが、單價の上でも上昇率が著しく、この點からも入超增大が激化されてゐる事を知り得る。

三

金の現送を別にして考へると、國際收支は明らかに困難な位地にある。貿易外に於いて、就中海運收入の如きは本年は相當增加するであらう。なほ考へらるべき事は、滿洲國との關聯である。今日では日本の圓と滿洲國の圓とは全く區別し得なくなつてゐる。したがつて對滿投資はもはや日本の支拂勘定と見るべきではない。ただ滿洲國の對日以外の支拂超過が日本圓爲替を壓迫するだけである。國際收支は今や日滿を綜合して見ることが必要となつたのである。入超は將來はやがて現在よりも減少するであらう。別に過大に悲觀する必要はないと思はれる。ただ輸出を增進することは大いに必要である。このためには外交に於ける協調主義の價値を見直すことが肝要となるのである。

三原則を通じて
政府、政友關係好轉

【東京國通】政友會では今後政府と政黨との摩擦を避け政府をして安んじて時患打開の革新政策を實現せしむるやう黨首腦部に對して出來得る限り連絡を緊密にし、政府、政黨間の意思疎通に最善の努力をはかつてゐるが、今回政府が五ケ年計畫として三原則を決定したことについては特に島田、松野兩氏に政府の意の存するところを傳達して黨としても政府と步調を合せて三原則五ケ年計畫の具體案を作成し、その成案を得次第なるべく議會前に政府に進言してこれが實現に寄與せられたき旨を要望したに對し、兩氏も快くこれを諒解し、直ちに政務調査會をして立案を急がしむることゝなつた、かゝることよりして漸次政府對政友會の關係は好轉しつゝあるものと觀測される

工業學校を擴充
八千名の大量養成を計畫

【東京國通】文部省では生産力の擴充に備へるため大量的に中級ならびに下級工業技術者を養成する計畫を樹て、陸軍、商工企畫廳各關係當局と合議を經た上、所要經費を追加豫算に計上する方針であるが、まづ應急的施設として直轄高等工業學校及道府縣の工業學校における現在の設備を擴充し、養成人員の增加をはかることになつてゐる すなはち昭和十二年度において準備をなし、向ふ六ケ年間に總額約四百萬圓をもつて全國高等工業學校中十校において二部教授により機械科五校六百人、電氣科二校二百四十人、應用化學科二校二百人、探鑛冶金科一校百五十人のほか、中學卒業後修業年限二年の別科（機械、電氣、應用化學）を合せ千二百人、又道府縣の工業學校第二部四千人、第二本科千七百人、專科五百人、總計約八千人を大量的に追加養成する計畫である

ソ聯機遂に
北極橫斷飛行成功米大陸に着陸

【ヴアンクーヴアー「ワシントン州」廿日發國通】北極圈橫斷のソ聯機は太平洋岸の惡天候と闘ひつゝ飛行をつゞけ廿日午前八時廿二分ワシントン州ヴアンクーヴアーに着陸した、給油破損のため不時着陸したものとみられるが、モスクワ出發以來六十三時間十七分である

江藤夏雄氏
滿鐵副參事に

元協和會本部文書科長江藤夏雄氏は今回滿鐵副參事に就任東京支社勤務となつた

うすりい丸幹部
國都見學に來京

大阪商船會社うすりい丸船長石本龜之進、同事務長小原儀政兩氏は國都見學二十一日朝來京、大阪商船新京事務所長坂井照氏の案內で各所歷訪、午前中本社へ來訪した

林滿鐵庶務課長

滿鐵總裁室庶務課長林顯藏氏は二十一日午前八時十分の列車で來京した

稅警團
各地に兵營建設

【青島廿日發國通】稅警團は山東侵入以來各地民家に宿泊してゐるため地方民との間に種々紛爭を生じてゐるので、この種紛爭により民心の離反するのを虞れ、且稅警團を恒久的に山東に駐在せしめんとする中央の意圖により稅警團第五團本部では膠天嶺を中心に青島を包圍的に取圍んで各地に兵營を建設することゝなつた、王哥莊の兵營工事は既に始つてゐるが、今度は馬哥庄附近二ケ所に大兵營を構築することゝなり、六月上旬以來セメント木材は青島から、石材は城陽から同地に送られてゐる

關東局辭令

關東州及南滿洲鐵道附屬地外指定學校指定規則第十一條第二號に依り本職を命す
室町尋常高等小學校訓導　安田[illegible]一
（五月三十一日）

吉林鐵路局辭令
新京滿鐵鐵路總局庶務課職員　猿渡勉
吉林電氣段庶務助役勤務を命す
（六月十八日）

ス革命軍に
情報提供
二百名逮捕

【東京國通】スペイン人民戰線內にトロツキスト派間諜團が暗躍、革命軍に機密情報を提供してゐたことが判明し十八日拂曉一味二百名が一網打盡に逮捕されたと傳へられる 間諜團はマドリッド、ヴアレンシア、その他人民戰線の牙城に手先を配置、革命軍に情報を提供したといはれる

寄附

日本橋通みしまや吳服店明坂謙一氏は亡母堂忌明に當り國防婦人會滿洲本部、同新京支部及び日本橋分會に各五十圓宛を寄附
▲朝鮮平安北道警務課長に榮轉の服部伊勢於氏夫人きよ子さんは離京に際し國防婦人會新京支部に金一百圓を寄附
▲滿洲中央銀行管理課副課長慶田稔氏は今回夫人の忌明けに際し金一封と救濟事業のため市公署救濟院に寄附した、市公署ではその篤志に感激してゐる

滿洲國人教師に
勳章贈與の御沙汰

【東京國通】長き邊りでは多年わが教育界に功績顯著なる左の滿洲國人教師に對し十七日勳章贈與の御沙汰があつた

東京市外國語學校雇教師　滿洲國人　施雲卿
福島高等商業學校雇教師　滿洲國人　博廷華
贈與勳五等瑞寶章（各通）

舊東北軍移駐狀況

【青島廿日發國通】西安事件の解決により西北地方にあつて共産軍討伐に從事してゐた舊東北軍は江蘇、安徽、河南に移駐を命ぜられ五月中旬迄に左の地方に移つた

一、第五十七軍（軍長繆徵流五ケ師）河南省北部平漢線の東側地區
一、第六十七軍（軍長吳克仁四ケ師）安徽省西北部地區
一、第五十一軍（軍長于學忠四ケ師）江蘇省中央部
一、第四十九軍（軍長劉多荃二ケ師）河南省南部平漢線西側地區
一、騎兵軍（軍長檀自新）河南省北部平漢線の許昌附近一帶

なほ舊東北軍の萬福麟軍は河北省南部平漢線沿線に、何柱國氏は西安行營副主任を命ぜられ同軍は隴海線の西側地區に駐屯してゐる、以上舊東北軍の新配置狀態をみるといづれも山間僻地にして物資に乏しく、鐵道沿線までの距離が遠い上、鐵道沿線は中央軍が守備して居るので、他の東北軍との連絡は全く斷たれて居り丁度德川時代の外樣大名の配置に似てゐる、また五月中旬には南京政府が舊東北軍整理辨法を制定したので今後は思ひのまゝ舊東北軍の改編縮小が行はれるだらう、かくて以前は共産軍とゝもに中央軍に對する一大勢力であつた舊東北軍も、總帥張學良氏が奉化に監禁され、諸軍が分離して僻地に追はれて士氣振はず、次第に沒落の運命をたどるものとみられる

防空講座（五）

整齊敏活な行動
素破空襲時の一般訓練

八、防空活動はいかに行はれるか

防空活動の先づ要領を概說してみると、防空監視哨からの報告により防空司令部から「敵機襲來！」の警報が發せられる、防空飛行隊は時を移さず敵機を驅逐するために壯烈なる空中戰を展開し、高射機關銃はすみやかに射擊準備を備へ地方官憲や自治團體は急速にラヂオで放送し、サイレンを鳴し、あるひは警鐘を亂打する等、各種の方法によつて普くこれを都市の住民に急報する、これと同時に遮蔽を要するものは直ちに燈幕その他にて遮蔽し夜間であれば燈火管制を施行して一切の火光が外に漏れないやうにする、これ等の諸活動は最も平靜且敏速に、しかして完全に行はれることが最も必要である

いよいよ敵機が都市の上空近くに現はれると高射砲や高射機關銃が照空燈の放射する閃光と共に猛火を浴せかける、勿論これは都市內においても實施される、その中を敵が燒夷彈を投下し各所に火災が起れば消防隊は逸早く消防に努力し、住民は避難に奔走する、そこにさらに地雷彈、毒ガス彈等を連續に見まはれたら家屋は崩壞し、負傷者は續出するであらう、こゝにおいて衞生隊員は防毒マスクを着裝して死傷者を擔架で搬送し救護、消毒、治療に忙殺される、この暗澹たる修羅場裡にあつて警察や防護團は懸命になつて交通整理や治安の維持に奔走するのである

およそ無防護の都市が空襲を受ければその慘狀は名狀すべからざるものがあるであらう、これを思ふと防空施設とその訓練はいよいよ痛感されるのであるが、防空活動は單に軍部のみならず、一般國民も擧つてこれに參與するのであるから全國民がこの防空一般の要領を知悉理解してをかねばならないばかりでなく一時眼前に展開する悲慘な光景に直面しても徒らに恐慌狼狽することなく毅然としてこれに耐えて嚴肅な規律の下に整齊敏活に行動出來る樣訓練せられてゐることが必要である

ソ聯最近の空軍現勢

製作能力年一萬二千臺

空軍はソヴイエト政府の寵兒である、第一次五ケ年計畫に關する敎書の序文においてスターリンは次の如く聲明した

吾々の外交對策は吾々がヨーロッパ諸國の軍隊と同一基調に立つ軍隊を持つことは要せない、否吾々の國家を防禦し內政改革を確保し、しかして又吾々が對外政策を支持するために吾々は常に空軍を待機せしめる要があるのだ

右の言明からソ聯外交の重心が强大なる空軍の即時整備にあることは明白であるがそれと同時に一朝有事の際に備へるの所謂準戰時動員體制を裏書するものでなければならぬ

一九三五年一月三十日に開催されたソヴイエト第七回大會への報告書においてトハチエフスキー元帥は茲四年の間に赤色空軍は三・三倍に增大したと發表したがこの言葉は宣傳のためには最大級の誇張を常套手段とする彼等のことであるから幾分割引して聞かなければならないにしても相當注目して置く必要がある、すなはち一九三五年のロシア空軍力はこれを一九三一年のそれと比較すると次の通り

△一九三五年

機型	飛行小隊數	機臺數	機臺總數に對する%
第一線機			
偵察機	一三	九七六	二八、〇%
戰闘機	一〇三	一、〇三〇	二九、〇%
爆擊機	九二	[illegible]	[illegible]
小計	二八九	[illegible]	[illegible]

機型	飛行小隊數	機臺數	機臺總數に對する%
補充機			
偵察機	五七	四六八	二三、〇%
戰闘機	二五	六五六	二二、〇%
爆擊機	一四	一二五	一〇、〇%
小計	九六	八七九	七六、〇%

△一九三一年

機型	飛行小隊數	機臺數	機臺總數に對する%
戰闘機	五〇	四〇〇	二二、八%
水上飛行	五五	三五〇	一〇、〇%
小計	九五	七五〇	二二、八%
合計	四四一	三、五〇〇	一〇〇、〇%

△一九三一年

機型	飛行小隊數	機臺數	機臺總數に對する%
戰闘機	一二	八五	八、〇%
水上飛行	三三	一七六	一六、〇%
小計	三三	二六一	二四、〇%
合計	一二九	一、一〇〇	一〇〇、〇%

右表によつて明かなる如く、一九三一年から三五年に至る四年間において赤色空軍の攻擊力は特に爆擊機の增大によつて高められた點に注意を要する、一九三五年において爆擊機總數七〇〇臺を數へたがその內四五〇臺は中爆擊機で三一〇臺が重爆擊機であつた すなはち爆擊機數の素晴らしい增加振りは敵國の都市及び敵軍後部に對する攻擊力の强化を語るものである

商況欄（六月二十一日）後場

●上海標金
前引　一、一三三、二

●上海爲替
日本向　第一回　賣　一〇四、八七五　買　一〇五、一二五
倫敦向　第一回　賣　一志二片一八分　買　一六分五
紐育向　第一回　賣　二九弗一六分三　買　八分七

株式相場

●大連株式（短期）

銘柄	寄	引
五品	一六、六〇	—
豆新	二〇、七〇	—
東新	一三一、六〇	—
滿新	四八、一〇	—
同新	五九、八〇	—
日清	七七、七〇	—
鐘新	二七〇、六〇	—

●奉天株式（短期）

銘柄	寄	引
滿取	—	—
東新	一三二、四〇	一三三、四〇
日清	七八、〇〇	七八、一〇
鐘新	二六七、一〇	—
五品	一六、六〇	—
豆新	二〇、八〇	—
滿鐵	五九、七〇	—
同新	四七、六〇	—
甲	三一、四〇	—
毛	—	—
麞	七一、二〇	—

新京取引市況（一石値段）

現物	引	出來高
大豆	—	—
高粱	—	—
米豆	—	—
吉豆	—	—
小豆	—	—
玉蜀黍	—	—
●大豆	—	—

六月限　六、七〇　六、[illegible]　二六車
七月限　六、四九　六、五二　二車
●高粱
六月限　—　一
七月限　三、四〇　—　一車

手形交換高（二十一日）

六三二枚　六〇〇、〇九五、〇六

鮮魚小賣相場（六月二十一日）

品名	最高	最低
活鯛	一二〇	二九
氷鯛	三九	三五
中小鯛	六八	三三
カスゴ	…	…
チヌ	…	…
チマ鯛	四〇	三六
アマ鯛	…	…
イセエビ	…	…
エビ	六七	六〇
車エビ	…	…
ブリ	…	…
ヒラス	二七	一六
マナ	二五	…
マス	…	…
サワラ	二八	二一
スズキ	二八	二二
ニベ	二四	一四
アジ	一五	一二
サバ	一五	六
赤ムツ	…	…
アコウ	…	…
メバル	二〇	八
アブラメ	…	…
鰡	…	…
タコ	…	…
水蛸	二一	…
飯蛸	…	…
紋甲イカ	四六	一三
甲イカ	二九	…
小ライメ	…	…
ヒライカ	二四	一三
カレイ	…	…
星カレイ	…	…
目高カレイ	…	…
連長	…	…
カナガシラ	八	…
コノシロ	…	…
コチ	一二	…
オコゼ	…	…
キス	七八	七二
サヨリ	九三	三〇
アナゴ	二八	…
白魚	…	…
鮑	…	…
カキ	…	…
貝立身	九	七
赤貝	…	…
蛤	…	…
みる貝	…	…
貼貝	…	…
カニ	…	…
（切り身相場）		
鰆	二一	一六
梶木	七五	二五
ブリ	…	…
ヒラス	…	…
サワラ	四〇	…
ニベ	四五	三五
ヒラメ	三五	三〇

天氣と氣溫

けふの天氣　南西の風晴一時曇り
日の出　前四時五六分
日の入　後八時二四分
月の出　後七時三分
月の入　前三時二二分
きのふの氣溫　最高二八度八　最低一八度三

無住地帶を拓く

省境粛正の双山子辨事處

農民家鄕に歸る

殺戮に、掠奪に、あくことを知らぬ匪賊のため、家を捨て、家財を捨て、辛くも身を以て安住の地を求めて家鄕を去つた人々が、東邊道三角地帶に幾許あつたであらうか。彼等が捨てた父祖以來の汗と脂の結晶たる家耕地は、匪火に燒かれたり、立ち腐れのまゝとなつて荒涼たる無住地帶と化して了つてゐる。

一斯う一した無住地帶は安東省內至る所にあるのだ、本年に入つてから省內の治安は著しく粛正の實を擧げ、巨魁王鳳閣の逮捕をはじめとし、大小幾多の匪團を擊滅し、嘗ては匪賊の溫床地帶の感があつた東邊道三角地帶も漸く妖雲がはれて王道の黎明の光が瞬くなげかけられてゐる

斯うした狀態の下に父祖以來の土に歸る農民を集團部落に收容する一方殘匪の剿滅、警備通信網の充實、道路の開拓等の使命の下に今春三月廿五日安東省寬甸縣双山子に設けられた省境粛正双山子辨事處は、開設以來高木處長以下日系十五、滿系二百名連日の如く殘匪と鬪ひながらも血と汗をもつて淚ぐましい活躍を行つてゐる

双山子は寬甸、本溪湖縣境にあつて附近け重疊たる山又山の高地で、今では逼塞して行方をくらましてゐる楊靖宇、程斌等の匪賊が嘗ては暴威を振つてゐたところだけに、疲弊の程度も甚だしく辨事處開設當時は殆ど農民の姿は見受けられなかつたが、四月、五月にかけて双山子を中心に、双山子―柏林川三里、双山子―井船二里の道路を拓くや、農民は辨事處の警備力に信用して續々として歸鄕して、荒涼を極めた四平街…双山子を去る六里…においても五月二十日までに八百七十八名(內男四一五、女四六三)が歸つて來てゐる、これ等の者は差當つて衣、食、住の全部を缺いでゐるので、辨事處では取敢ず一家族にアンペラ十五枚平均を渡し、燒かれた家の殘骸にこれを張り廻らせて辛くも雨露をしのがせる一方食料は縣公署、復興工作委員會から包米を主として馬鈴薯、青豆小豆等百廿石をもらひ將來返還することゝしてこれを貸與し、さらに今秋の收穫を目指して六百九十五天地の耕地整理を行ひ一戶當り平均四天地を割當て

	(復興量衡)
包米	六石九斗七升
大豆	二一石
小豆	九石五斗
高粱	一石四斗一升
粟	八石八斗五升

の種子を分配して本月五日までに全部播種させることが出來た、さらに今秋までの生活を保たしめるため取敢へず五月一日から七月末まで九十二日間の食料として一人平均包米舊枡の一合(新枡三合)合計七十七石、千六百圓を縣公署裏倉より配給し七月以降收穫期までは集團部落、道路建設の勞銀一日卅錢で生計出來ることゝなり、無一物、着のみ着のまゝで歸つて來た農民達も今秋までの生活の途は完全に見透しがつき、さらに氣候の激變なき限り今秋には一天地當り三・五石收穫が豫想されてゐるので若干生活に豫裕が生じて來る事と思はれる

一集團一部落は目下のところ上八里甸子に八十三戶、大臺蘆島に百戶建築中で、すでに前者は八〇%、後者は八五%出來上つてをり、これが完成次第四平街に百三十戶を建築する豫定で着々と準備を進めてゐる、同時に既設通信網の補修、擴充に努め警備通信の普及に力を入れてゐる

双山子辨事處は開設とゝもに最も距離的に接近し、かつ最も疲弊し切つてゐる四平街部落を中心として以上の建設工作を行つたが、大體五月下旬に至つてその第一期計畫の進捗を見るに至つたので、同二十九日隣接桓仁縣の無住地帶に辨事處員の一部を派遣した、桓仁縣では馬鹿泡、大洋董菜園子、東爪嶺等に主力を注ぐ豫定である 以上の部落は大體四平街と同じ樣に無住地帶で甚だしく疲弊してゐるが、この邊一帶二千四五百天地も耕地がある

句子を中心に二里四方だけ農耕をさせてゐる、この四部落には本年末までに集團部落約五百戶を建設するがそれまでに道路の建設電信線の架設を行ふ管である

辨事處の最も困難を感ずることは道路の建設に當つて無住地帶であるために人夫がゐないことだ、己を得ず全區から人夫を募つて工事を行つてゐるが、これでは農耕期や收穫期に當つては人の集りも惡いだらうし食住の面倒をみてやらねばならないので費用の點からいつても、豫想外にかゝることだ

双山子附近は鐵鑛資源も相當にあらうし辨事處裏山には二町半にわたつて黑鉛で山肌が眞黑になつてゐる 農民達は多になると黑鉛の風化した部分を掘出して燃料に使用してゐる、さらに双山子と四平街間には磁鐵鑛の鑛脈があるらしく、無電が全然使用出來ない狀態であり、資源もあり、廣い耕地もある、たとへ現在は無住地帶でゝ安居樂業の地となる可能性は充分にあるのだ 集團部落の建設に、道路の開拓に、耕作の指導に絕え間なく辨事處員のふり下す一鍬ごとに斯うして樂土は拓けて行くのだ

第四回全新京男子排球大會

- 期日 六月二十七日午前八時より
- 場所 敷島高女コート
- 申込 六月二十四日迄 協和會首都本部 新京日日新聞社
- 選手 監督一名、正選手九名、補缺三名 但豫選の際選手を除く
- 試合 トーナメント式
- 賞品 優勝旗、優勝盃、メタル
- 會費 不要

主催 協和會首都本部 新京日日新聞社

後援 滿鐵新京支社、地方課 滿洲國排球協會 滿鐵體育ボール部

力行青年をめぐる 張法相の美擧

司法部大谷君に留學費を贈る

苦學力行の薄幸な一青年をめぐる張司法部大臣の美擧―司法部雇員大谷鶴雄君(二〇)は高等小學校卒業以後向學心に燃えながら家が貧しいため上級の學校にも進み得ず三年前司法部に雇員として採用されて以來、晝は仕事に勉勵し夜は青年學校の模範生として學の途にいそしみ、既に二回表彰されたことがあるが、家庭にあつては自分の學歷のないことを非常に殘念に思ひ、僅かな收入の中より弟を中學校に、妹を女學校に通學させ母親を助けてゐた、これを傳へ聞いた張司法部大臣は自分で學費全部を負擔して北平に留學せしめ將來滿洲國のために大いに働いて貰ひたいと意向を洩したのが愈よ具體化して大谷青年は北平同學會で支那事情を勉強するため廿一日新京發北平に向ふことゝなつた、この大臣と一青年の日滿美談には司法部員一同大いに感激してゐる

美擧の主 張大臣語る

苦學力行の一青年をめぐる美擧の主張司法部大臣を司法部大臣室に訪へば、美髯の影にはにかみながら謙遜して語る

部下の有爲なる青年の前途を祝してほんの少しばかりの手助けをしたゞけです、これが私の美談の如く世間に傳へられると却つて恥しい思ひがします、私は日滿人を問はず前途ある青年のためには出來るだけの力になりたいと思つてゐます、そしてこれ等有爲の青年によつて、わが滿洲國が健全なる發展を遂げることを願ふばかりです、大谷君も國家のため大いに勉強して呉れることを蔭ながら祈つてゐます

喜びに輝く 大谷青年決意を語る

見出された青年大谷鶴雄君を祝町二ノ二〇の自宅に訪へば四年前父親を亡ひ母親と弟妹二人のさゝやかな四人暮しで母親は髮結稼業の細腕で子供の前途を樂しみ働いてゐるが

大谷君はさすがに喜びに顏を輝かしながら元氣に語る

皆樣のお蔭で北平に留學させて戴くことになりました折角の皆樣の御後援に對し懸命の勉強をする決心です張大臣には心から感謝してゐます、感謝の意を表はすには懸命の勉強の成果を擧げること以外にないと思ひます

藝術院會員 建築界から二名

【東京國通】帝國藝術院の會員には建築界からも二名選ばれ、工學博士伊藤忠太氏、帝大名譽教授工學博士塚本正氏は、交渉を受け就任を受諾した

電業快勝 軟式庭球リーグ

恒例の滿鐵、電業、電々、警察署四ケ所軟式庭球リーグ戰は二十日午前十時から電々コートに於て盛大に開催されたが試合經過は左の通りであるが電業の活躍物凄く總點に於て昨年の優勝者强豪電々を十點引離して本年度の覇權を獲得し午後七時十分盛會裡に終了した

▲試合經過

- △電業 25―14 警察
- △電々 20―18 電業
- △滿鐵 13―26 電業
- △滿鐵 21―18 電々
- △警察 19―23 滿鐵
- △警察 15―22 電々

以上得點總計

1、電業 六十九點
2、電々 六十八點
3、滿鐵 五十七點
4、警察 四十八點

實業復仇成る 實滿第二回戰

6A―3

實滿第二回野球戰は廿日午後三時實業球場にて滿倶先攻にて開始、結局六A對三で實業復仇す、閉戰五時卅分

		計
滿倶	010002000	3
實業	01000401A	6A

圓盤界に復活 カザルス及パデレフスキー

我が國レコード音樂界の權威ある存在として好評を博してゐるビクター洋樂愛好家協會第二輯は續々と大物を出し入會希望者殺到のため遂に短期間配布による第二次會員募集を發表することになつた。この第二輯は第一輯に較べて、その內容が充實してゐたこれは委員が最初に演奏者と曲目を選定し會社が犧牲を惜しまず、萬難を排して吹込に努力した結果に他ならない斯くして集められた顏ぶれは文字通り現代世界樂壇の巨匠を網羅したものだ。中でも會員を欣ばすものは、動亂の西班牙からカザルスを拉してHMVにコール・ニドライ全曲を吹込ませた事と、洋琴の至寶パデレフスキーの新吹込成功であらう。この他悉くファン垂涎の名盤揃ひで、エルマンもピアチゴルスキーも來朝記念として東京吹込所で吹込んだ自署刻印入の記念盤を配布すと。頒布盤は十二吋十二枚、今回は七月、八月の二回で全曲頒布、會費月參圓の割、會員には本皮製アルバム、演奏者サイン入ブロマイド等添付、申込は六月末日まで、先着順一定數にて締切の由、曲目內容申込等詳細は最寄りビクター特約店へ。

金剛製藥奉天支店長更迭

【京城支局】京城府黃金町二丁目五十七番地金剛製藥所奉天支店(奉天加茂町十三番地所在)支店長尹炳も氏は今回本店營業部長に榮轉、後任には今立一直氏が新任された

讀者の領分

役中稿傷 歡不迎可

京中生の服裝

新京中學校設立されて五年在住市民の子弟は云ふに及ばず北滿一帶に活躍しつゝある在留邦人は等しく喜びに堪へない就學兒童を持つ家庭にとつては子女に對する最善の教育を望む事は申迄も無い事だが出來得る限り最少限度の經費で希望して居るに相違無い(例外的なブル階級は別として)然るに新京中學校の生徒に對する經費は日本內地中學生に比して實に多額なのである中學時代は見榮ぢや無い(高等學校だとて同じだが)それだのに新京中學校の生徒の服裝を見るに折襟が第一氣障だ、そして多服に於ては裏付のセル? 毛織物生地で無ければならぬと云ふ風に全く日本內地の學習院邊りの學校當局と同じ御考へらしい、東京は國都新京も國都と云ふ御考へから一つ位い學習院もあつていゝと云ふ樣な御考へか知れぬが滿洲在留民は恐らく學習院を望んで居まい、軍部に對するオベッカの國防色は宜敷いが折襟と毛織物は中止して頂き度い、それとリクサツクを止めて下さい、くの字なりになつて近頃中學主の體格が大層惡くなつて來て居るから(ヘ日本人生)

家庭

實驗の結果明かな 唾液の殺菌力

犬や猫が傷口を嘗めるのも肯ける

猫や犬が嘗めずり廻すことによつて傷口を治し、またわれ〳〵がちよつとした怪我には思はず本能的に舌をもつてゆくことや、繃帶をもしない口中の傷も自然に治つてゆくことなどからして唾液には治療を速める作用や殺菌作用があるのではないかとは以前から一般に考へられてきたところですが、この昔からの一般の考へは今日或る程度まで科學的にも正しいことが判つてきました。

◇唾液中の免疫體

一體唾液は大部分の水分とプチアリン、ロダンカリン等の消化酵素と、蛋白や粘素などから成つてゐますが、この他にいろ〳〵の免疫體を含んでゐることが實驗の結果明瞭となつてきました。例へば免疫ワクチンを注射すると、必ずそれが唾液の中に出てきますだからチブスの豫防注射をすれば、腸チブス菌に打勝つだけの免疫體が唾液そのものゝ中にも出てきてるわけで、従つて唾液だけでもチブス菌を殺しうる力をもつてゐる筈のものです。

◇唾液と血液型

それ位ですからわれ〳〵の體內に腸チブスに對する免疫體があるかどうかを檢べる場合従來の血清と同樣に唾液の試驗管內の凝集反應の有無によつても或る程度までより簡單に判つてきます。これはちやうど血液型を檢べるのに血液でなくて唾液や精液等によつても判ると同じことです。かやうに唾液の中にはいろ〳〵の病毒に打勝つ免疫體を含んでゐる(正確にいへば血液より移行する)ことが種々の動物實驗の結果判明しましたが同時に體內に何か毒が入つた場合、數日間はその何パーセントかの毒物が唾液にも出てきます。

◇唾液と殺菌力

併し乍ら唾液は常に口中にゐる有害無害の無數の黴菌に打勝ちうるほどの殺菌力を有するとみるのは大體において正しく、既に外國では唾液は黴菌を溶解する作用があると明かにいつてゐる學者もある位です。でわれ〳〵が怪我をしたとき、咄嗟に唾をつけるのは一部の學者のいふほど決して危險でないことをいひえます。併し乍らわれ〳〵文明人には例へば沃度チンキのやうに唾液以上に正確な殺菌劑が手近にある以上、傷には常に「唾を」との感を抱くのはいふまでもなく危險であります。

ふんなのないわ!

粹な浴衣に汚い足の爪

夏は足にもお洒落れを……

△…暑くなるにつれて、洋裝和裝共に素足を露はす機會が多くなります特に薄物のキモノの裾に亂れた時にフト目に付た女性の脛が毛ムヂヤラだつたり、粹な浴衣の下からのぞいた足の爪が汚なかつたり、或は洋裝のうすい靴下からムダ毛が飛び出してゐたり……まだ〳〵そんな人がずゐ分見うけられるやうですが、それこそ近代女性の大きな恥ですよ。

△…で夏は入浴の後の數分間を是非足のおしやれに割愛するやうに習慣づけて頂きたいものです。入浴後は皮膚もムダ毛も軟くなつてをりますから、その間に脫脂綿にオキシフルを含ませ足を洗してムダ毛を漂白致します。それからオリーブ油かコールドクリームをたつぷりつけて脚から爪先までマッサーヂして皮膚を柔軟に致します。

△…次に足の爪も手と同樣に簡單な美爪術をし特に浴衣着の場合などの爲に一おすゝめ致します。甘皮の軟かいうちにオレンヂ棒で甘皮を押して爪の型を整へそれから爪磨粉をかけて磨き最後にエナメルをつけます。エナメルの色は自然色がよろしいでせう。

◎料理獻立◎

酢味噌ポークと茄子のしぎ燒

【材料】(一人前)

豚肉	四〇瓦(約一〇、七匁)
味噌	二〇瓦(約五、三匁)
茄子	四〇瓦(約一〇、七匁)
馬鈴薯	五〇瓦(約一三、三匁)
トマト	二〇瓦(約五、三匁)
油	六瓦(約一、六匁)
生姜 パセリ	少量

以上にて蛋白質一二、七瓦、カロリー一九七となり、無機質、ビタミンも完全であります。

豚肉は丸のまゝ蒸すか茹でゝ切り、茄子は丸のまゝ庖丁目を入れ油炒めし、馬鈴薯は粉ふきとし、トマトは切り盛合せ、茄子と豚肉の上にかけ味噌をのせる。

紫蘇卷揚げ

【材料】(一人前)

豚肉	五〇瓦(約一三、三匁)
メリケン粉	九瓦(約二、四匁)
玉子	七瓦(約一、九匁)
大根	二〇瓦(約五、三匁)
トマト	三〇瓦(約八、〇匁)
油	八瓦(約二、一匁)
紫蘇の葉	適宜

以上にて蛋白質一二、九瓦、カロリー一九七となり、無機質、ビタミンも完全であります。

豚肉薄切をしその葉に卷き衣をつけて揚げ、大根おろしトマトを附合せ、天汁を添へる。

今日の話題(二十二日)

△夏至
△畿內諸國驛路の兩側に果樹植込みを命ず(天平寶字三年)
△源平二股川の決戰(元久二年)
△田中義一大將生る(文久三年)
△メートル法原器をフランスにて定む(西曆一七九九年)

ビールの釀造法

仕込作業

仕込作業と云ふのは麥芽を浸漬してその中のヂヤスターゼを働かせ澱粉を醱酵性糖分に變化させ醱酵せしめる麥汁を作る操作である。この操作を分けると麥芽の割碎、糖液の製造、ホップ添加の三方法となる。その裝置としては

(一)麥芽割碎機……麥芽の割碎
(二)混合機
(三)仕込槽(糖化槽)
(四)仕込釜
(五)濾過
(六)麥芽汁釜(ホップ煮)……ホップ添加が行はれる

糖液の製造

麥芽割碎機で適當に粉碎した粉碎芽は、仕込槽の上部にある混合機で水と充分に混合され仕込槽に入り糖化作用を營ませるのであるが、此の操作に浸出法と煎出法の二方法がある。浸出法は主に英國で行はれ醪全部の温度を漸進的に上昇させる操作を採るから、「エキス」分中

糖分の多い麥芽汁が

得られ、従つて(アルコール)含有量の多い麥酒が出來る。そしてこの方法では前記裝置中、仕込槽と濾過槽とを兼用し又仕込釜と煮沸釜とは多く兼用である。我が國では鶴見のカスケード麥酒が此の方法に依つてゐる。煎出法は本邦獨逸、オーストリヤの如き底面醱酵麥酒の釀造に應用され醪の一部を取り仕込釜に入れて煮沸し、之を殘りの醪に加へて漸時溫度を上昇させるもので、麥芽汁は「エキス」分が比較的多いけれども糖分は割合少なく、従つて「アルコール」の含有量の少ない麥酒が得られる。仕込槽に入れ適量の水を加へてよく攪ハンした後熟溫を加へて三五―四〇度とし、次にこの混和物の約三分の一を仕込釜で約三十分間徐々に攪ハンし乍ら煮沸し之を元の液に加へる。さうすると全液の溫度が五〇―五五度に達するからさらに三分の一を仕込釜に移し煮沸して元の液中に送還すると、今度は全液の溫度は六〇―六五度に上昇する。更に同樣の作業を繰り返して全體の溫度を七〇―七五度に達しさせる。而して之を麥芽濾過槽に移して溫度の下降しない樣に注意して一時間內外放置する。此の間に澱粉は悉く糖分及び糊精に變化する。而して

麥芽汁中の粕が全く

沈澱して清澄となつた時は液汁を分離し、殘滓には約五六度の溫湯を注いで濾過する。尙碎米は能く洗滌し煮沸する際に加へる。斯樣にして得られた麥芽汁は濾過槽の下にある麥芽汁釜(ホップ煮釜)に送られ茲でホップを添加して煮沸し冷却され醱酵せしめる。ホップを加へる目的は麥酒に芳香佳味を與へ、又其中のタンニン酸によつて麥芽汁の蛋白質を沈澱させて清澄にし、尙アルカロイドに依て多少の防腐性を與へるためである。

ラヂオ けふの番組

(M・T・O・Y 新京放送局 廿二日(火曜日))

××朝××

六、三〇 ラヂオ體操・入港船のお知らせ(大連)
六、五〇 中等滿洲語講座(大連)
七、一五 講師 秩父固太郎 朝の音樂(大連)
七、四五 建國體操
八、〇〇 氣象通報(大連・新京)
九、三〇 經濟市況(東京)
一〇、〇〇 家庭講座(大連)
一〇、二〇 料理獻立(奉天)
一〇、三〇 家庭メモ
一〇、四〇 經濟市況(大連・新京)
一一、三五 經濟市況(大連)
一一、四〇 經濟市況(東京)
一一、五九 時報

××晝××

〇、〇五 晝の演藝(レコード)
〇、四〇 ニュース(東京・新京)
一、〇〇 經濟市況(大連・新京)
三、〇〇 經濟市況(大連・新京)
三、四〇 經濟市況(東京)
四、〇〇 ニュース(東京・新京)
四、三〇 經濟市況(大連・新京)
五、二〇 ニュース(鮮語)

××夜××

六、〇〇 演藝(鮮語)
六、〇〇 國史連續講演(終)(東京) 明治維新と尊皇思想 文學博士 井野邊茂雄
六、三〇 子供の時間(東京) 理科物語(六)熱
六、五〇 東京コドモクラブ コドモの新聞(東京) 關屋五十二
七、〇〇 ニュース(東京)
七、〇〇 ニュース・告知事項・番組豫告(新京)
七、三〇 來滿所感 松本幸四郎
七、五五 日獨國際放送 國內アナウンス(東京)
八、〇〇 ベルリンより交響曲 明治頌歌 山田耕作作曲 ベルリン交響樂團 指揮 山田耕作
八、三〇 物語(東京) わだち 大澤清作 村瀨幸子
九、〇〇 防空思想講座(四)(奉天) 飛行機の今昔 滿洲航空株式會社 武室豐次
九、三〇 時報・ニュース(東京)ニュース・事項・氣象通報・番組豫告(新京)
一〇、〇〇 管絃樂(哈爾濱) 鐵路俱樂部野外演奏所より中繼 ハルビン交響管絃樂團 指揮 シユワイコフスキー
一、オペラ「フイラモレ」中の印度娘の舞曲 ルビンシユタイン作曲
二、ハルタリヤの行列 イボリツトイワノフ作曲
三、幻想曲クレエン作曲
一〇、三〇 北滿の時間(哈爾濱)

雑誌新刊

現代(七月號)

◇現代七月號は呼物記事として「新內閣と時局を語る座談會」「夏の夜話三大特選實話」「軍人首相論」島田俊雄「各界釣ファンの座談會」の四ッを擧げてゐる。◇此中で、何と云つても內容的にコクのあるのは冒頭の座談會、出席者前田米藏、賴母木桂吉、安部磯雄の三氏に局限したこの座談會記事である。◇季節柄また釣趣味の大いに普遍されて來た折頃では釣ファン座談會も、充分の讀物バリユウを感じさせる。林前首相退却の後をうけて政友會總裁候補の一人島田俊雄君の軍人首相論も傾聽に値しよう。◇寫眞の大家、岡田紅陽氏の「海と山」と理學博士大賀一郞氏の「蓮の研究餘談」◇新進實業家佐野隆一氏の奮鬪物語は、近代科學による企業界の勇者として同じ成功者の傳記◇基督教界に救世軍の紛擾など忌はしき事件の起つてゐる折に特別讀物として村田四郞氏の「使徒パウロ」が發表された。

雄辯(七月號)

◇もし、國民が夫々の代表者を選んで現代日本の各方面の代表的名士に無遠慮な物言ひをさせるとしたらその名士にはリストに上るのではあるまいか、青年宰相近衛、町田民政黨總裁、小林一三、菊池寛橫綱双葉山、大河內理研所長市川左團次、馬場新內相其外にもあるにはあるだらうがどうしても逸し去るわけに參らぬが右の八氏である。◇雄辯七月號にはこの無遠慮物申し記が斷然異彩を放つてゐる。◇其他論陣のページをめくるなら野澤秀信氏の物價騰貴觀新代議士五氏の選擧演說報告書乘選擧論、澁澤冽氏の最近の時事問題批判等が光つてゐる。◇四月同誌主催で開催された「全國青年雄辯選手權大會」各辯士の熱辯審査員其他諸氏の批評などで特輯した熟辯集一冊を附錄と◇仲でも前記の記事以外「魚の神樣丸川技師に海と魚の奇談を訊く」「雄辯大會入賞者座談會」などはどうしても此雜誌の讀者には見落せぬところであらう◇創作欄に故津村京村氏の戲曲「畸人大雅夫妻」

新女苑(十八增大號)

婦人雜誌と少女雜誌の中間を行く新雜誌として、若い女性間に大評判の『新女苑』七月號には、先づ◉近衛公令孃島津昭子さんの『父・近衛文麿』は、家庭に於ける近衛公を描いて、思はず微笑せしむるものがある。◉『轟夕起子の心境を訊く』『飯沼飛行士の生家を訪ふ』『小說(紋章)の主人公雁金八郞氏と語る』『山に捧ぐる乙女の純情(荒井八重子)』等は時のトピックを捉へた訪問記事で、夫々興味深い讀物になつてゐる。◉神近市子女史司會の座談會『若き女性の娛樂の問題』秋田雨雀、杉山平助、宇野千代諸氏の『女性の愛情に就て』等は、若い女性に情操を持たせるのに實際役に立つ好讀物である。◉附錄として『新女苑ボーグ』(スタイルブック)の別冊つき。(特價六十錢送料六錢五厘、東京京橋、實業之日本社發行、振替東京三二六番)

學藝

魯迅この國に横行する風景

大内隆雄

近頃滿洲國のお役所に行つて、私の眼にあちらこちらで眼についたものがある。それは改造社が出した「大魯迅全集」といふ厚い本である。それが法令集とか、行政法とかの本の間に挾まつて、特異な色彩を示してゐるのは確かにちよつと事變つた眺めではあると私は思ふのであつた。

實は魯迅の作品の多くのものは、原作で讀んでゐる私なので、私はニッポン語に譯出されたその本にはあまり魅力を感じないのである。それはそれとして、滿洲國に於けるニッポン語譯魯迅の儼たる存在といふ事實については、なほそのほかにも考へられていゝ事があるやうに思ふ。

◇……◇

ニッポン語譯魯迅の儼然たる存在といふ事實とともに、私どもの理解すべきも一つ背後の事實は、この國ではおほよそ原文魯迅は入國を拒否されてゐるといふ實狀のことである。原文を入手し得ないが故に、ニッポン語譯を通じてでも魯迅を理解しやうとする「滿系」もたくさんゐること であらう。これは一見面白い事實であるし、日本的なるものの崇拜主義者などから見れば極めて愉快な事實であるだらうが、文化の擁護、發展と言つた見地からすればなほ深く考ふべき問題であるに違ひない。

◇……◇

實際に調べたわけでないのであるから、何とも言へぬのではあるが、恐らくニッポン譯魯迅はほんものの魯迅をだいぶん抹殺してゐる部分がある事と思ふ。殊に彼が晩年に書いた隨想的短文のなかにこれが大いに多いことと思ふ。斯くて日本官許魯迅は滿洲國に於いても堂々と愛讀され、官廳の机の上にも存在權を持ち得てゐるのであると思ふ。魯迅の愛弟子であつた滿洲育ちの蕭軍は、中國自らはその先師の全集をも未だ出版し得ぬ事情を嘆いてゐるやうであるが（雜誌「文藝」七月號所載「中國からの通信」參照）日本の出版資本家が取り上げた魯迅について簡單に讃辭ばかりを呈するのもどうであらうか。

◇……◇

或る滿系の先生はニッポン語を勉強するためにニッポン譯魯迅を讀んでゐるのださうである。これも確かにあり得る場合である。まあしかし、原文を理解する力ある人々が多くゐても原文そのものが入手出來ぬのでは仕方が無い。ニッポン譯魯迅によつて大いに現代中國を理解するにつとめることは、滿洲國官吏諸君にとつて決して無駄な事ではない。改造社も、この正しい讀み方がひろく滿洲國で行はるれば大いに功徳をほどこすわけである。（六、二〇）

素直なときもある

―林房雄の一文―

林房雄もたまには大いにまじめな論文を書くといふ事實を見せたのが「時代の暗さと文學」（文學界七月號）である。

「現代の暗黒と愚行を貫いて、人間の勇氣と獻身と純情と叡智と善行が輝いてゐる。この積極面を見落すやうな作家は、もう作家ではないのだ。作家といふものは、不屈な坑夫であり、諦練した精錬技師である」―さう書いてゐるとき、林の特質が素直に現はれてゐて好感を持てる。

しかしその林も、實際の作品の上では屢々蹉跌をやるやうである。何にも間違ひが無いといふのは何にもしなかつた場合だけだとすれば、彼の仕事の仕振りもまた良しとすべきではあらう。それにしても、この放言の大家の今度の文章は好かつた。斯ういふものを書くことを續けてほしいと思ふ。放言も時には惡くないが、あまり出來の良くない洒落や反語などの書き飛ばしは林のために惜しいのである。（B・J）

新文相への期待

O・P・Q

廣田内閣に於ける平生文相は義務教育延長案の實現に熱心であつたが、然し在野七十年間の持論たる自由通商主義をいつの間にか取り落して了つたと見え、内閣の末路に臨んで、總辭職よりも議會解散を斷行しろなどといふ、暴論を吐くやうになつてゐた。又前内閣に於ける林兼攝文相はその心醉する川合清丸ばりの祭政一致主義を振り廻して滅私奉公よりも公私混淆の嫌いが少からず、理不盡な喰逃げ解散によつて國民と正面衝突といふデッドロックにのし上げた結果、大急ぎで杜撰な文教審議會の顔觸を揃へただけで何一つ治績を遺さず國民の怨嗟裡に退却した。七十餘歳の變節文相と六十餘歳の神がゝり文相との後をうけて現れたのが、四十台の安井文相である。新文相の手腕は未知數であるが、年齢が若くなつただけでも世間は二代の文相よりも遙に好感を寄せてゐるやうである。だが、新文相が就任の抱負として新聞記者に語つた談話の中にも「私は常に大楠公を崇拜してゐるが、それは大楠公の事蹟でなくその精神である。私などたとひ萬分の一でも大楠公の精神を汲むことか出來ればよいと思つてゐるが、中央地方を問はず行政上にこの精神を再現活用して行きたいと思ふ」とあるのを見ても、大體その意嚮を推察することが出來る。大楠公の精神とは何であるか、一言にして盡せば「七生報國」といふことであらうが、之は何人も別に異存のあらう筈はないわけで宛も福澤諭吉が「正直は殊更に取立て、ほめらる可き美徳ではなく人間當然の道である」といふ意味の名言を殘した如く、この「七生報國」も亦國民生活當然の道なのであり、隨つて右の新文相の談話だけでは「正直」で以てわが處世の方針としたいと聲明すのと一様であつて無論そのこと自體について國民として異論のありやう筈はないが、然し、國民が現實に欲する所はもつと身近な具體的な問題でなければならない。我々が今、安井文相に望む所は「七生報國」の精神を裏づけるに現實社會に對する誤らざる認識を以てしてほしいのである。單なる「楠公精神」の顯揚だけでは現實の國民生活の行詰り、教育制度の宿弊、その入學難と就職難國民體格の下落等の諸問題は決して解決出來ない。我々は新文相が何よりも今日の社會組織並にその直接の背景をなしてゐる明治以後の歷史を熱心に研究し、その必然性と利害とに對する冷徹なる認識に基いて問題の改革解決に當てられんことを熱望して止まない。新文相は嘗て職を社會局に奉じ、外勞働問題の解決に對する「精神的掛聲」の無力を充分知つてゐる筈であり、この事は教育問題についても當て嵌るのであつて、新文相を前二代の老文相との相違が、單に年齢のみの相違に止まらないことを希望する。

新京短歌會例會

日時 六月二十七日（日）午後六時
場所 中銀倶樂部
詠草 一首
屆先 二十四日迄嚴守（本社學藝部宛）
會費 五十錢
・會員たらざる一般の參加も歡迎します

川柳募集吟

編輯局選

「喜」 編輯局選

喜びを家一杯に子はひろげ　一坊
待望の入社通知に手の慄え　二九坊
喜びの母の涙も凱旋日　倭文東
喜びの何時しか踊る小原節　克美
喜びを隣の不幸に小さくし　わたる
喜びを胸に抱いてる高島田　正坊
訪問を喜ぶ友も金はなし　地平線
喜びを繙くひろげた内祝　一坊
當にせぬ昇給辭令へ顔の色　二九坊
喜びの一つ闇屋へ姉の所作　左門
喜びを言はれて顔を赤く染め　城
歡喜佛何佛かと尋ねられ　左門
喜びが押えきれない顔に撮れ　唯然
喜びを蔭膳にして母と居る　唯然

佳作

發表へ悲喜交々の人が立ち　左門
凱旋の列車歡喜の旅に醉ひ　三休
良く似たとほめそやされる初端午　城
昇給を喜ぶ妻にある若さ　地平線
喜びに答へて擧手の除隊兵　唯然

秀作

喜びが國から屆く男の子　三休

軸

喜びに充ち上陸の第一歩
喜びを父表情の中にみせ、

次回柳檳
一、宿題「ネヤタイ」「洋車」「旅」
一、締切 六月二十五日
一、投句 一葉一題トス
一、宛名 新京八島通四六 國都吟社宛

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△經濟金融概況（五月號）四六倍百四十頁に亘り滿洲經濟界の動きを各部門について記錄してある（新京北大街、滿洲中央銀行調査課）
△大連商工會議所々報（六月十五日號）
△協和（六月十五日號）地質調査關係の人々で催された「旅で拾つた話」なる座談會が最も光つた記事である、滿洲の自然に寄せるしみじみ語られてゐて近來の收獲とすべき紀錄だと思はれた（大連市東公園町滿鐵本社内、滿鐵社員會、二十錢）
△石油國策論集第二輯（長谷川尙一著）この熱心なる石油國策論者は次々に本を出して行くこの輯には昨年から今年にかけて書いた諸文章が集められてある、菊判百十五、地圖、寫眞等を添へて（東京市麴町區内幸町一ノ五、長谷川尙一事務所、非賣品）
△養蜂界（六月號）養蜂研究の諸記事を盛る（愛知縣中島郡奧町、養蜂界社、十五錢）
△正金週報（六月十一日號）四月中英國に於ける新規債額、四月中赤邦貿易の量並に單價統計等掲載（橫濱正金銀行調査課）
△國民法律顧問（六月號）興味ある實例で法律知識の普及をはからうとするもの（東京市荒川區尾久町五一ノ一八一、國民法律顧問社、三十錢）

朦朧組徹底的掃蕩へ！

關東局管下に於る 檢擧五百名突破

更生見込の者〝一札〟附で釋放 緊張裡に徹宵取調べ

さきに「ひとの道」高利貸退治を行つた新京署では今度は百餘名に亘る街の朦朧を一齊檢擧し社會の公安を害する不良分子の撤底的掃蕩を斷行し善良なる市民の好評を博してゐるが、關東局管下二十五の各警察署よりの檢擧狀況報告（二十一日午後四時迄）に依れば五百名を突破してゐる、大連奉天等では更に第二次、第三次檢擧を行ふ豫定で總數は千名を突破する模樣である、檢擧人員は現在のところ新京の百餘名が最も多く留置場は超滿員である、高等係では午後一時より早速極く罪の輕いものから取調べに着手し夜遲く迄續け將來更生し得ると認めたもの二十名ばかりを嚴重訓戒し「今般御署に於て取調べを受けし件に關し衷心より悔悟致しました今後は絕對に斯る行爲を繰返さざることを誓約致します」といふ請書を入れさして一應釋放狀況をみる事となつた、取調の結果或は意外なる大物にも司直の手が延びんとも計り知れず新京署二階の高等係は撤宵異常な緊張を續けてゐる、尙比較的大物と目される新京神社神官青山某の如きは神聖な神社の金を詐欺橫領してゐるものの如く三百代言橫尾某等と共に最后迄とり殘され嚴重取調べの上處罰せらるるものとみられてゐる

白布窃取專門の 工事場荒し 犯人 自白

大同廣場中央銀行大林組工事場の出入掟を巧みに利用した窃盜犯人が白系露人現場守衛の手に捕つた

犯人は新京興安大路鴻茂洋鐵舗職工于廣江（三十一）で洋鐵職工として同現場に約二ヶ月働き『現場出入の者に對しては出る際に身體檢査をなす』との現場の掟其他內部の事情に通じてゐるところから工事場荒しを思ひ立ち二十日午後七時ごろ職工を裝つて悠々表門から侵入し暖房用の白色原布二十尺を窃取し塀側便所の蔭からそつと外部人道に押し出して置いて表門から何喰はぬ顏で出たが折柄場內監視中の守衛白系露人ロバトキン（三十七）君が同人の擧動に不審を抱き附近を巡回の結果この事實をつきとめたので手ぐすね引いて附近に張り込んでゐるとそれとは知らぬ前記犯人は午後九時ごろ再來、該品を持去らんとしてゐるところを背後から押へ込み首都警察廳に屆け出たもので取調べにより同現場だけでも既に白布專門の窃盜五件を働き入質しては遊興に費消してゐたことを自白したが餘罪多數ある見込みで追窮中である、なほ殊勳のロバトキン君は去る一月康德會館內某會社のタイピストを襲つた强盜も取押へた模範守衛である

今度の日曜日には 清夏の大屯へ

本社でハイキング團体募集

來る二十七日の日曜日には娘々祭でお馴染の大屯へハイキング！本社で二十七日の日曜に郊外で絕好のハイキングコースとして寵愛されてゐる大屯阜豐山ハイキング團體を募集する、新京を午前十時三十分發列車で出發、同五十八分に大屯驛に下車し、滿鐵本線を右に約十五分間を步いて、娘々廟に到着、林間に一憩ひして格好の勾配をなす石山に登つて頂上にいたり北方には新京の遠景を望み、四方に開展せる曠野を耕す平和な農民部落の點々と散在する風景を眺めつゝ、皇帝陛下大演習御統監の記念碑前で福引、運動會などを催して一日を淸遊するもまた興あるものであらう

會費は大人五十錢小供三十錢

申込みは驛（三ー三三二七六）ビユーロー（三ー三三九三）へ申込まれたい

第二回防空演習 打合せ會議

第二回防空演習打合會議は二十一日午後一時三十分から首都警察廳二階會議室に各關係者約三十名出席して開かれ、防空知識の普及宣傳に關する具體的打合せがあつて同五時三十分終了した

都市對抗野球北滿代表 滿洲國軍決定

內地都市對抗野球大會に全滿の代表チームを決定する豫選の第二次北滿豫選大會は四平街、哈爾濱、新京各第一次豫選に優勝した三チームで十九日から西公園球場でリーグ戰が行はれてゐたが、結局二十一日四平街對新京滿洲國の戰の結果滿洲國が優勝して北滿の代表と決定した、なほ滿洲國軍は今後奉天に於て行はれつゝある南滿豫選の代表者と決勝戰を行ひその勝者が全滿代表として內地へ遠征することになつた

14—1 滿洲國大勝 對四平街戰

北滿豫選第三日滿洲國對四平街戰は二十一日午後五時より西公園球場で孫（球）西田、伊藤、大辻（壘）四氏審判のもとに滿洲國の先攻で開始された、第一回目から滿洲國至極順調で一、三、五、七、八九回と續々得點したに反し四平街打擊振はず加へて守備失多く結局十四對一と云ふ大きな開きで滿洲國軍が大勝した試合終了後直ちに北滿豫選閉會式を行ひ滿洲國の高橋、四平街の時任（兄）兩主將に依つて日滿兩國旗が降され鯉沼滿鐵新京支社參事から滿洲國軍主將高橋君に晴れの北滿豫選大會の優勝旗が授與され芽出度く大會を終了した【寫眞は優勝チーム滿洲國】

▽スコアー

滿	3	0	3	0	3	0	1	3	1	14
四	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

▽メンバー

滿洲國　二中捕捕一遊投左三右右　橫栗二佐深佐田古加高木 々 岩

四平街　左捕中遊一右二三投　內原木藤瀨木中井藤橋村　田岡石木井住時因 任任

▽トータル　打數 得點 安打 犠打 三振 四球 盜壘 失策

滿洲國　4 1 1　5 4 5 0 5 8 3 2

四平街　8 1 2 1 3 3 1 5　2

松本幸四郎一座 愈よ明夕開演

本社優待券を御利用下さい

東京大歌舞伎一座松本幸四郎一行は愈よ廿三日より二日間に亘り滿鐵西廣場俱樂部において蓋を開けることゝなつたが、何しろ名流名題を揃へた空前の大歌舞伎として前人氣は素晴らしいものがある、既報の如く本社では當事者と交渉の結果、二階後部に「本社大衆席」を特設する事となり二百名に限り先着順に料金五圓をもつて觀覽出來る優待割引券を刷込むことになつたが空前の大人氣と共に既に豫約申込み殺到してゐることゝて本優待券使用は二百名の豫定席を超過すること絕對に不可能となつてゐるので、御利用の際にはこの點特に御留意をお願ひする、席は階上後部であるが、劇場設備を完備してゐる同俱樂部では觀劇に支障をきたす懸念は絕對になく、好劇家はこの好機を逸して悔ひを遺されぬやうお勸めする、尙初日狂言は左の通りである、開場は午後二時、開幕は同四時【寫眞は幸四郎と共に來演する上から市川段猿、松本錦吾、松本錦四郎、市川猿藏、松本高麗雀、松本染升】

—初日狂言—

第一「伽羅先代萩」一幕 御殿より床下まで

第二「眞如」一幕 額田六福作

第三「鈴ケ森」一幕 幡隨院長兵衞白井權八

第四「勸進帳」一幕 歌舞伎十八番の內 長唄連中

第五「河內山宗俊」一幕 河竹默彌翁作 松江邸廣間より元關先

第六「紅葉狩」一幕 新歌舞伎十八番の內 常磐津連中 長唄連中 竹本連中

トラック刎ねる

二十一日午後五時十分頃朝日通八十五番地を南廣場に向け疾走中の安東煕業運轉手梅ケ枝町四丁目十六番地居住牟文甲（二三）の運轉するトラックに新京百貨店前より出て道を橫切らんと飛び出した吉林省双陽縣林家屯居住栽通擧（四四）がはねとばされ右眼上部及胸部に全治三週間の打撲傷を負ひ早速深町醫院にかつぎ込まれた、衝突の原因は全く被害者の不注意とされてゐる

海軍〇〇團、合流匪擊退

【哈爾濱國通】第四軍管區入電、海軍〇〇團長の指揮する〇〇名は、六月十六日三江省寶淸縣康寧街において匪李延平、馬德山の合流匪二百名を急襲これを潰走せしめた、鹵獲銃器、馬多數、わが損害戰死兵一名、負傷上尉一名

夏休み近づく

中小學校とも溫泉、海濱聚落へ 早くも愉しいプラン

各小學校では來月六日からいよいよ暑中休暇が始り、例年の通り海濱、溫泉聚落を企てゝ各小學校ごとに希望者を募つてゐる、海濱聚落は五日から十四日まで月ヶ浦で尋常五、六年及び高等科生の身體强健なものばかり、溫泉聚落は來月十六日から三十日まで熊岳城で營まれ、尋常三、四、五六年生の比較的虛弱な兒童を募つてゐる、なほ經費は海濱聚落は約八圓、溫泉聚落は約十圓の豫定である、中等學校の暑中休暇は中、商、女各學校ともに來月十一日から八月二十日までゞ兩高等女學校では十一日から十日間夏家河子で海濱聚落を開き、商業學校では上級生の露語科生夏季實習その他各種講習會などの計劃が立てられてゐる

空襲下の資源確保へ 家畜防護團結成

きのふ公會堂で結成式擧行

國都防衞に關する各種施設は聯合防護團を始め着々整備充實されてゐるがこれは市民に對する防護であつて家畜に對する防護に關しては未だ何等の機關も施設も無く一朝有事の際に於ける空襲による家畜の慘禍を考へるとき慄然たるものあるに鑑み滿洲獸醫畜產學會新京支部では空襲により蒙る新京及び附近の一般家畜を防護し資源を確保すると共に家畜愛護心を普及向上させる目的のもとに家畜防護團を結成することゝなり過般來準備中のところ二十一日午後一時から新京記念公會堂に於て盛大な結成式を擧行した、出席者日滿關係機關代表者五十餘名にて安達支部長の開會の辭があつて直ちに協議に入り家畜防護團結成に到るまでの經過を報告結成の賛否を諮り滿場拍手をもつてこれに賛成役員の選擧に移り團長に安達誠三郎、副團長堀尾正朔、宇戸修次郎三氏を推薦他役員は團長より指名依囑することを提案し滿場賛成、安達團長より一場の挨拶を述べ役員

▲顧問濱田陽兒、岸良一▲本部長坪井清、三宅濱治、田原稔▲防毒部長宮內忠男▲防疫部長山田重治▲救護部長三浦四郞助▲庶務會計班長久米定一▲記錄班長曾根一雄▲通信班長濱口浩平▲宣傳班長米田富▲器材班長澁谷育造▲寫眞班長曾憲章

の諸氏を依囑することゝし一たん休憩のゝち有馬獸醫少佐より『化學兵器と家畜防護に就て』と題して約二時間餘に亘つて有益な講話があり終つて公會堂裏空地に於て軍馬、軍用犬の防毒實演を行ひ散會した、なほ結成された家畜防護團は今後

撒毒時に於ける家畜の避難
防毒具着裝家畜の作業受毒
家畜に對する處置、細菌攻擊に對する處置、燈火管制下の作業

等につき絕へず訓練を行ふ筈である（寫眞は新京家畜防護團結成式）

特別市公署主催の 優良兒表彰式

特別市公署主催の優良兒表彰式は二十一日午後一時から市公署院內に擧行、植田市長事務取扱から一場の挨拶あつて母親の胸に無心とは言へ今日を晴れの最優良兒四名、優良兒七名に賞品、賞狀それぞれにまるまると肥つた赤ちやん自慢の記念寫眞を授與、終つて山口審査委員長から講評があつて同一時三十分目出度く終了した

東興鎭採金場殉職社員 遺骨新京へ

去る十六日琿春縣東興鎭西北方約十キロの採金現場で戰死した滿洲採金會社殉職社員四氏の遺骨は白濱、近兩氏遺族及び社員に護られて二十一日午後三時東興鎭から新京に向ひ出發したる模樣である

新京管理局管內 現業局長會議

躍進に躍進を重ねつゝある電々會社では二十一日から三日間新京管理局管內の各現業局長を招集して本社第二會議室に於て第二回現業局長會議を開催諸問事項、建議事項、指示事項等數多協議硏究し將來發展の對策とする豫定であるが、第一日は午前八時三十分開會管理局長の訓示があり之に對し現業局長代表の答辭があつて九時二十分から會議に移り正午休憩、午後一時から引續き會議を續行し午後四時第一日の會議を終了した、會議出席者は日人局長三三名滿人局長二五名、日人主席五名である

錦ケ丘高女の第一回運動會

錦ケ丘高等女學校では二十二日午前九時から第一回大運動會を開催、各組對抗優勝旗の爭奪戰を演ずる

朝鮮産業視察團迎へ座談會

協和會首都本部では今般來京した朝鮮産業視察團を迎へて廿一日午後一時半より首都本部で滿洲國の產業に關する座談會を催し、約一時間にわたり意見の交換を行つたが、終つて午後二時半より首都本部主催の歡迎會が中央飯店で催された

元山府丸元穀物協會視察團

朝鮮元山府丸元穀物協會では滿洲產業視察團二十九名を組織し滿洲の產業並に特產品の取引狀況視察の目的をもつて二十二日元山出發約一ヶ月の旅程にて滿支を廻はるが、新京には二十七日午後四時二十分着列車で來京、二十九日午前十時發列車で南下の豫定

協和會記者クラブ

協和會首都本部では二十一日午後四時半より協和會記者俱樂部員を軍人會館に招き種々懇談協議を行つた

打越定男氏榮轉

滿洲水上競技聯盟役員電々大連管理局勤務の打越定男氏は今回滿鐵奉天保安區に榮轉

訂正

本月二十日朝刊七面に「ボート監視人を袋叩き禁衞軍の暴行」の記事中に宮內府禁衞軍とあるは護軍の誤りにつき訂正する

フレンソーダ

オートバイの小父さんで通つてゐる新彩社主の高橋忠君の愛妻ぶりは有名なもの▼オートバイに妻君を同乘して走るくらひならまだしもさる日も▼眞黒に日焦けした左手の指に光るプラチナにダイヤ入りの指輪をさして▼いよいよとなつたとき持つて行くやうにと家內がねえ……と云ひ終らぬうち若い連中々おーい給仕氷水を持つて來てくれえ

戀慕 髑髏組（ざくろぐみ）

（百二十八）　（映畫化上演）　林杢兵衛　金子士郎畫

油地獄（一）

云はれて、直ぐに答へられない刑部である。暫くは、固く腕を組んで考へ込んでゐたが、やがて徐ろに頭を擡げ

「それは考へものでは御座らぬか源十郎殿、折角無事に立てさうな身體を、わざわざ好んでそんな危ない橋に近寄らずとも、金子が入用なれば、此の店の有金、すつかり浚つて持ち出せば、先づ常盤の費用に困らぬと云ふもの……」

刑部に云はれるまでもなく、源十郎の支配下にある此の家だが、どうしたものか、固く頭を振つて受け入れない。

「貴公の言葉だが、それは面白くない。此の家は矢ッ張り貴公の住居としてまた、一味の足溜りに、手をつけないで殘して置きたい。だから、どうしても一仕事しなくては、寝ざめが惡くて、どうしても此の江戸が立ち退けぬ」

と云ひ出したら、何處までも押し通さなければ承知をしない源十郎の気性を、刑部もよく知り拔いてゐる。

「では、どう云ふ具合に？」

遂に、我を折らなければならなかつた。

「二三日前から、家はもうちやんと見ておいた。此のつい四五軒先の油屋がよからう」

「なに、油屋……あの油屋へ……」

「左様、あの油屋の庄兵衛、此頃大分裕福とは、専ら世間の評判だ。そんな噂がたつ位だから、安目に見ても千兩や二千兩。仕事は案外に楽と云ふもの……」

「と云ふと？」

「なアに造作もない、今夜夜更けに押し込んで、寝て居るあの夫婦を叩き起し、金の所在を確かめて、ブッたくつて了へばそれでいいのだ」

「それは出來ない。目と鼻の先……」

「心配は要らぬ、もし顔を見られたら、其の場を去らずブッタ斬るまで……」

◇

その翌る朝。

本郷切り通しの番所へ、慌しくなつて駈け込んだのは春木町の家主徳藏だ。

「昨夜、私の店子である油屋庄兵衛方へ強盗が押入り、庄兵衛夫婦と、それからまだ生れたばかりの赤ン坊が、無慘にも殺されました」

と、云ふ火急の訴へだ。

正月早々に晴天の霹靂。切通しの番所は、天地が逆轉したやうな大騒ぎだ。

直ちに五六人の町役人が、油屋へ出張をした。その頃は、早くも兇行を傳へ聞いて集つた彌次馬が、黒山のやうに群つてゐる。字治郎の前あたりまで大混雑だ。

憶測を語る者や、見てゐたやうに小聲で話し合ふ者が、其處、此處に人溜りを作つて、今飛び込んで行つた役人達の手に依つて、果して此の事件の結末がどうつけられるか？と、お互に好奇心を燃やし上に高ぶらせながら待つてゐる。

「なんでも、あのお内儀さんに惚れた男があつたさうで御座んすよ。下手人はその男ぢやないか？と云ふことで……」

「まさか、あのお内儀さんに限つて、そんなことはありますまい。私の思ふには、あの貰ひ子の親父が、我が子可愛いさから、また連れ戻しに來たのを、油屋夫婦が、今では子供に情が移つて、渡さない——と云ふので、結局爭ひになつて、こんな事になつたんぢやありませんか？」

「いや、それは違ひませうよ、聞くところに依りますと、あの赤ン坊は貰つたんぢやなくつて、本當は拾ひ子だつたさうで御座んすよ」